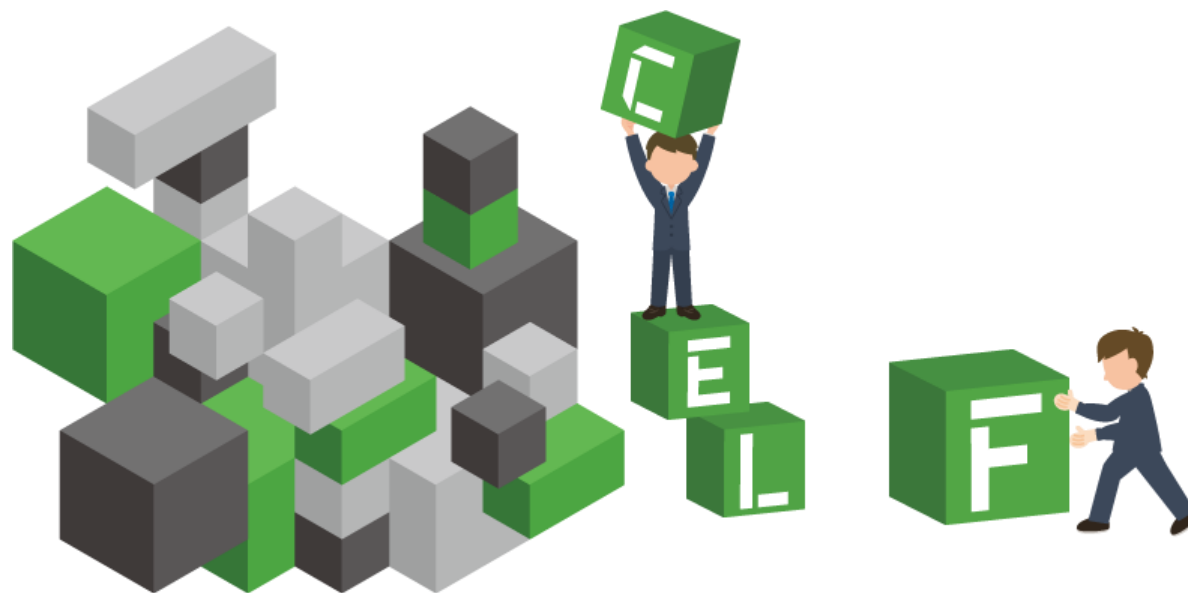


現場の業務アプリケーションは

「開発」から「つくる」へ

CEL F オンラインセミナー V.2.2



事前準備

1. CELFのインストール（未だの方）

インストール方法は、CELFご契約時、または、トライアルお申し込み時にご案内しています。ご担当の方にご確認ください。

2. ハンズオンコンテンツのダウンロード

オンラインセミナー動画公開ページよりダウンロードしてください。

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍すると以下の構成になります。

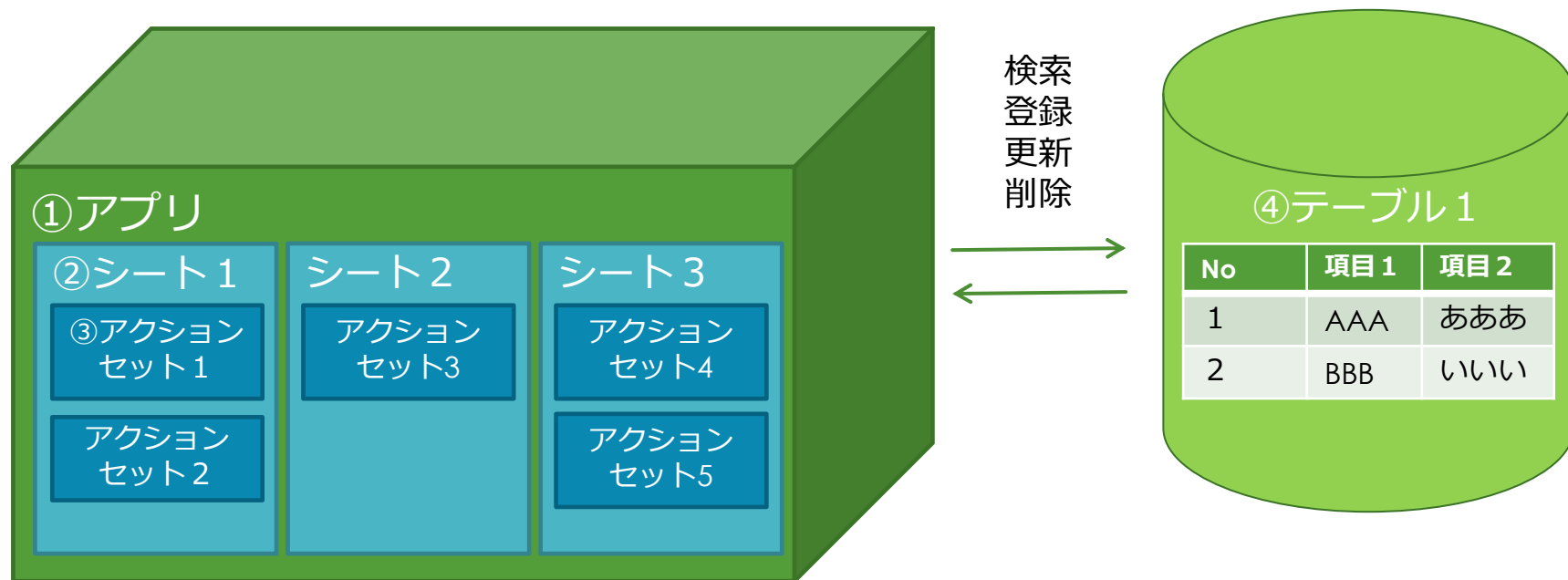
¥CELFオンラインセミナー_ハンズオンコンテンツ

- ¥CELFシート作成／テーブル作成用_インポートファイル
 - 画面元EXCELファイル.xlsx
 - 顧客マスター.csv
- 商談管理アプリ.capp

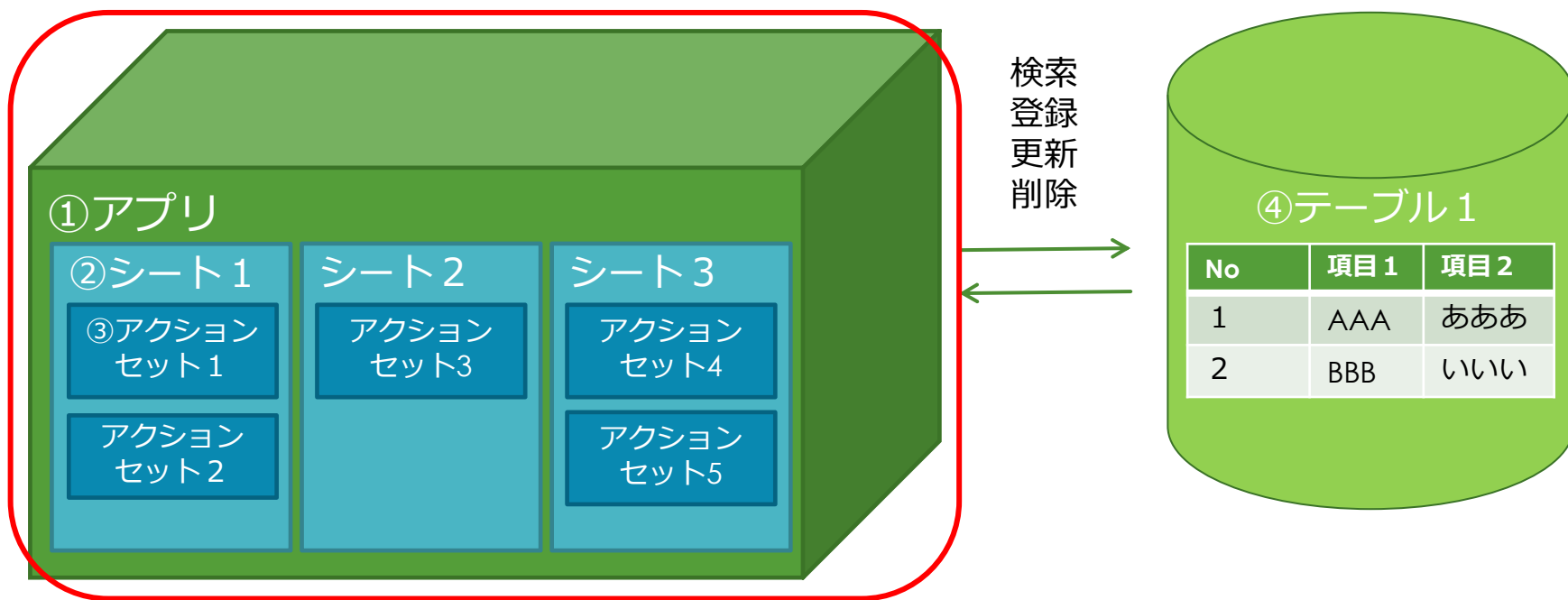
CELFアプリの基本



CELFアプリの基本：概念図



CELFアプリの基本：①アプリ



CELFアプリの基本：①アプリ

アプリとは

業務の目的に応じて使うソフトウェアを指します。

「予算実績管理アプリ」、「見積・案件管理アプリ」など業務単位にアプリを作成します。

アプリの作成

アプリを作成するには2通りの方法があります。

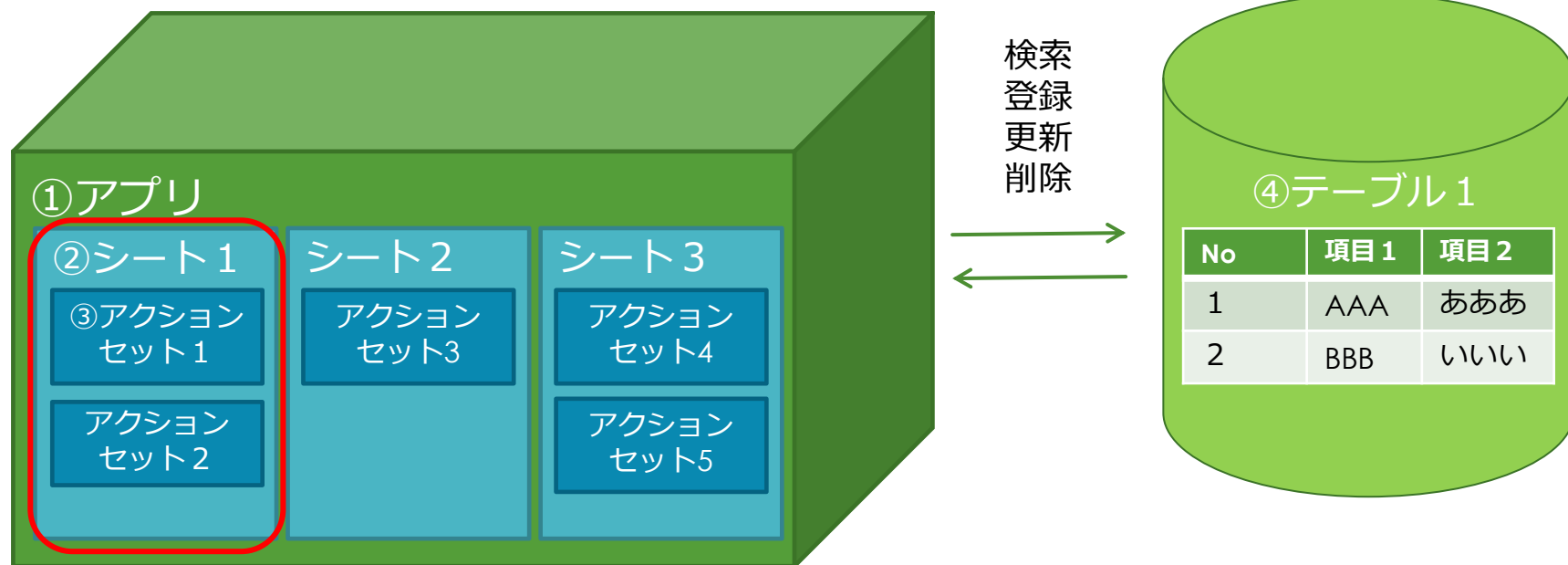
1. 新規作成

アプリを新規に作成し、一から作ります。

2. EXCELから自動作成

既存のEXCELファイルをインポートし、必須項目やレイアウトを設定してアプリを作成します。

CELFアプリの基本：②シート



CELFアプリの基本：②シート

シートとは

アプリ内に必要な画面をシートとして作成します。
アプリ利用者が操作する画面を目的に応じて必要なだけ用意します。

シートの作成

シートを作成する方法は2通りあります。

1. 新規作成

何も入力されていないシートを新規に作成し、画面レイアウトを一から作ります。

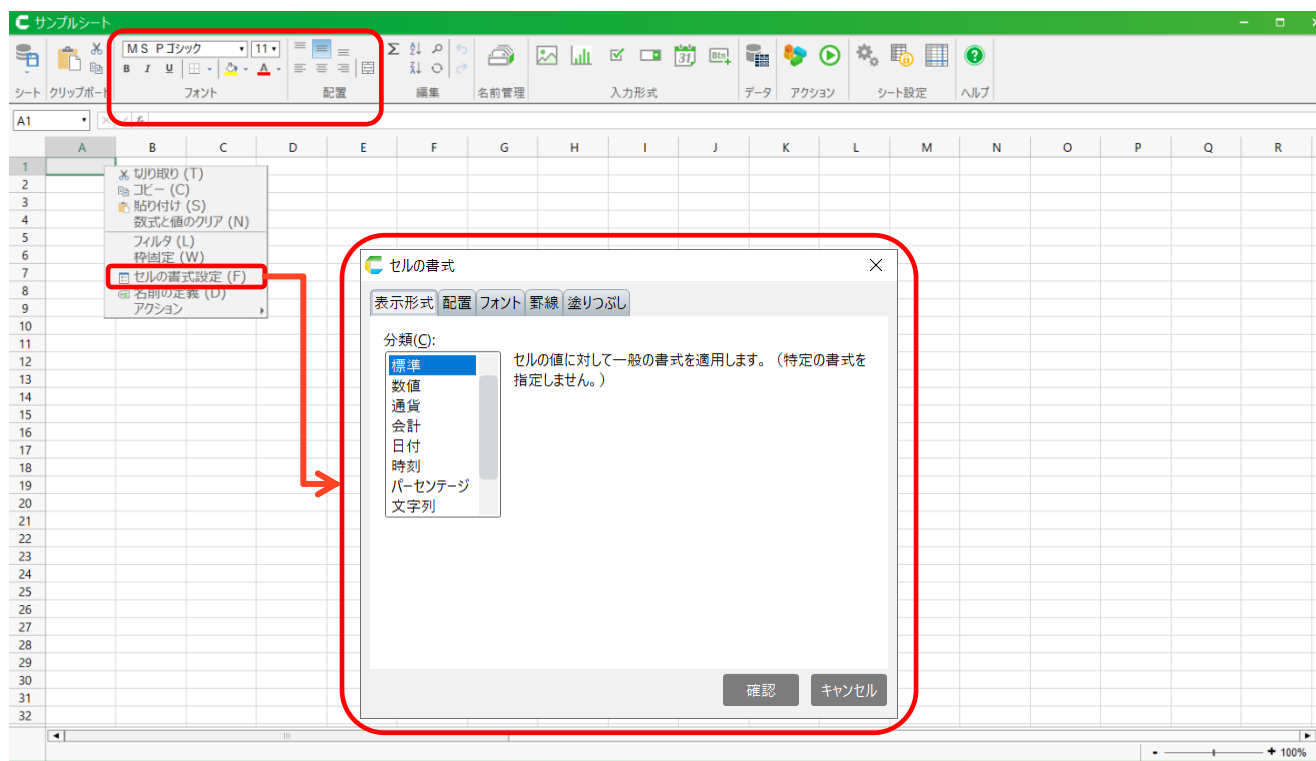
2. 既存EXCELをインポート

既存のEXCELのシートをインポートし、そのままCELFの画面レイアウトとして利用します。

CELLFアプリの基本：②シート～EXCELのように編集可能～

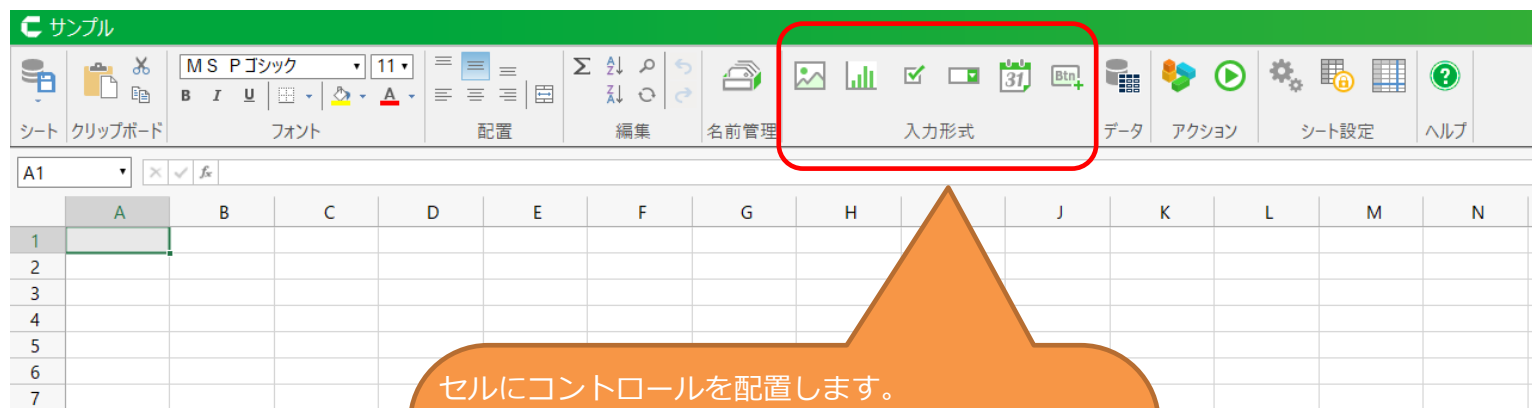
EXCELと同じような操作（セルの結合、塗りつぶし、枠付けなど）でシートのレイアウトを編集します。

リボンメニューの「フォント」や「配置」、右クリックメニューの「セルの書式設定」などを利用してレイアウトの編集を行います。



CELFAプリの基本：②シート～コントロール配置（入力形式）～

リボンメニューの「入力形式」から、「ボタン」や「リストボックス」などのコントロールを選択してセル上に配置することができます。
また、コントロールはCELFA独自の関数を利用してセルに直接配置することもできます。



セルにコントロールを配置します。
左から以下の通りです。



画像



グラフ



チェックボックス



リストボックス



カレンダー



ボタン

CELFAプリの基本：②シート～CELFAで利用できる関数～

CELFAでもEXCELの主要な数式や関数を使うことができます。
EXCELと同じく、セルに=で始まる文字を入力することで数式や関数を利用できます。

	A	B	C
1			
2			=1+2
3			

	A	B	C	D
1				
2	1	3	=SUM(A2,B2)	
3				

以下は利用できる関数の一例です。CELFA独自の関数も存在します。

利用できる関数	機能
VLOOKUP	指定された範囲の1列目で値を検索し、同じ行の指定した列の値を返します
SUM	引数を合計します
SUMIF	指定された検索条件に一致するセルの値を合計します
CHECK	セルにチェックボタンのコントロールを配置します ※CELFA独自の関数
CALENDAR	セルにカレンダーのコントロールを配置します ※CELFA独自の関数
USER.NAME	ログインユーザの名前を返します ※CELFA独自の関数

数式や関数の入力の方法、その他CELFAで利用できる関数の一覧は、ヘルプページから確認できます。

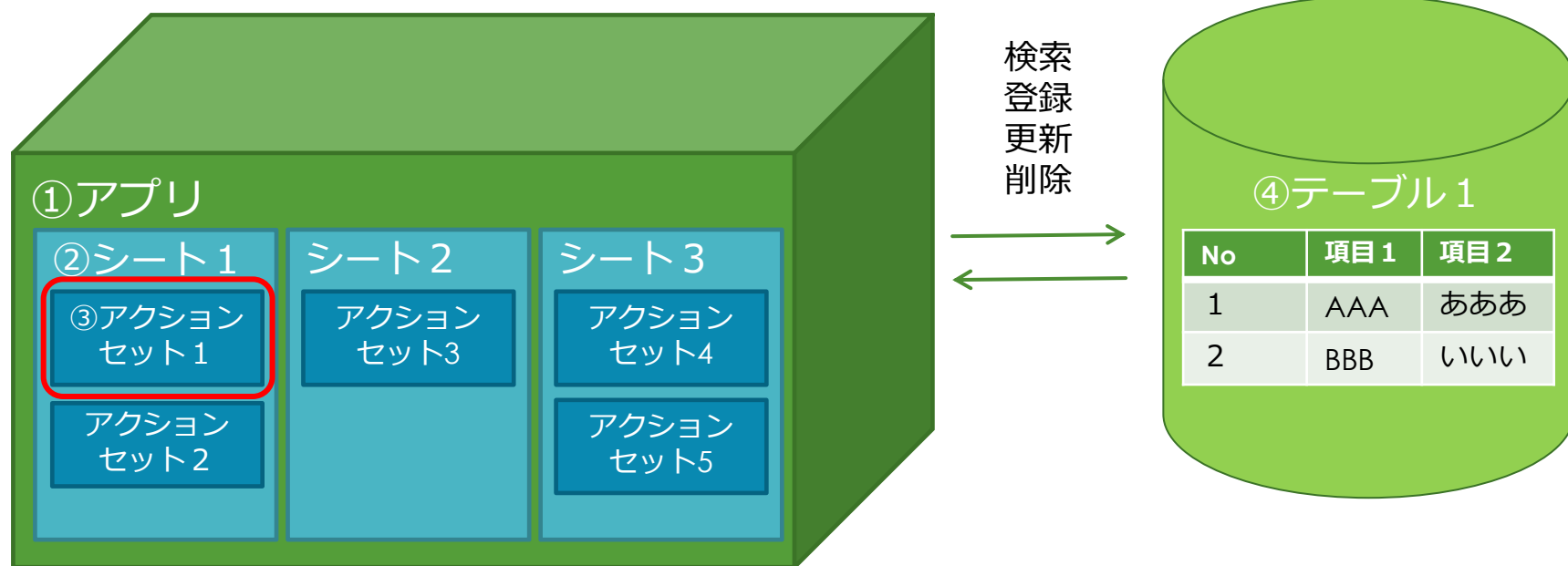
CELFAプリの基本：②シート～シート設定～

アプリとして表示するときの画面サイズや、入力を許可するセル、印刷時の改ページ位置などを設定できます。

シートの設定を行います。
左から以下の通りです。

- シート設定
- 入力制限
- 改ページプレビュー

CELFアプリの基本：③アクションセット



CELFアプリの基本：③アクションセット

アクションセットとは

画面上の操作に応じて実行される処理を、CELFではアクションセットと呼びます。

アクションセットの作成

アクションセットは、以下の3つの手順で作成します。

1. アクションセット作成

CELFで、あらかじめ用意されたアクション（部品）をドラッグ&ドロップで組み立ててアクションセットを作成します。

アクションとは、命令や動作をブロックで表したものです。

2. アクションセット実行タイミングの設定

作成したアクションセットを実行する操作を設定します。

- ・シートを初期表示したとき
- ・シート上に配置したボタンを押したとき
- ・セルの内容が変更されたとき

3. 動作確認

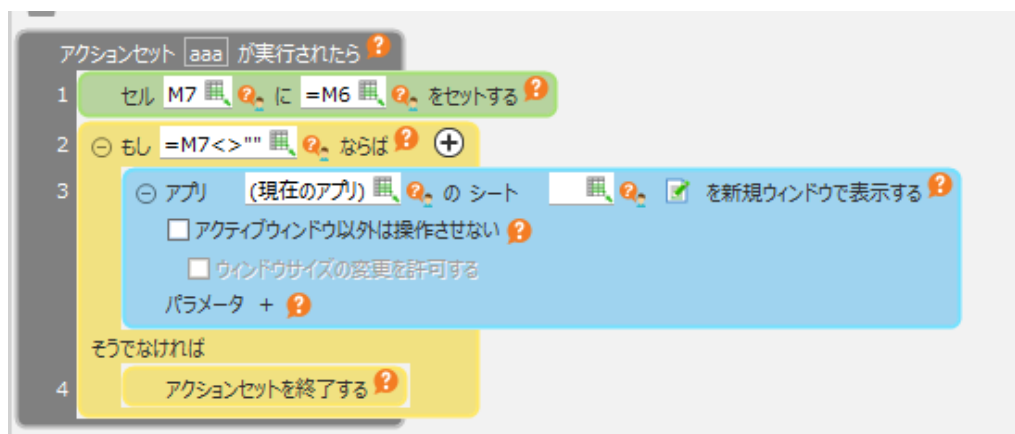
作成したアクションセットをテスト実行し、動きを確認します。

CELFAプリの基本：③アクションセット～作成手順～

アクションセットはアクションタブからアクションを1つ1つドラッグ&ドロップして作成します。



あらかじめ用意された様々なアクションを組み合わせ実行させたい処理を実現します。



CELFAプリの基本：③アクションセット～アクション紹介～

CELFAでは、「セル操作」「シート操作」「データ操作」「制御」「ファイル操作」などのカテゴリごとにアクションが用意されています。


セル操作 シート操作 データ操作 制御 ファイル操作

セルや行・列を操作するためのアクションがあります。
以下は「セル操作」アクションの一例です。

- ・セルに任意の値をセットしたいとき

セル  に  をセットする


- ・セルの値をクリアしたいとき

セル  の値をクリアする

- ・行を表示したいとき

行  を表示する

- ・列の表示・非表示を切り替えたいとき（例.表示の場合は非表示にする）

列  の表示・非表示を切替える

CELFAプリの基本：③アクションセット～アクション紹介～

セル操作 シート操作 データ操作 制御 ファイル操作

シートを操作するためのアクションがあります。
以下は「シート操作」アクションの一例です。

・別シートを新しく開きたいとき

アプリ (現在のアプリ) のシート を新規ウインドウで表示する
 アクティブウインドウ以外は操作させない
 ウインドウサイズの変更を許可する
パラメータ +

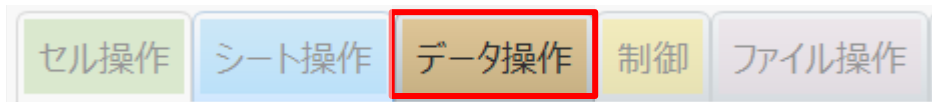
・別シートへ切り替えたいとき（元のシートは閉じる）

アプリ (現在のアプリ) のシート を に切替える
パラメータ +

・シートを閉じたいとき


シートを閉じる
パラメータ +

CELFAプリの基本：③アクションセット～アクション紹介～



データベースなどのデータを操作するためのアクションがあります。
以下は「データ操作」アクションの一例です。


・テーブルからデータを取得したいとき


テーブル から複数件取得する 

表示する列と表示先の設定


検索条件


ソート条件

取得開始行を指定する 行目から取得 

取得最大件数を指定する 最大で 件取得 

・テーブルのデータを更新したいとき

テーブル のデータを更新する 

他のユーザーが更新または削除していた場合はエラーとする 

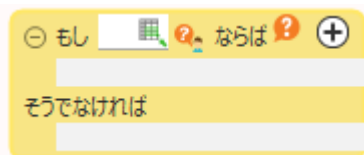
更新条件

CELFAプリの基本：③アクションセット～アクション紹介～

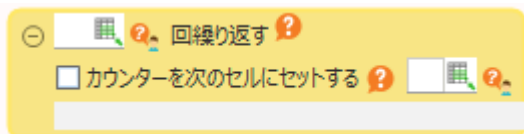
セル操作 シート操作 データ操作 **制御** ファイル操作

アクションの実行順序を制御するためのアクションなどがあります。
以下は「制御」アクションの一例です。

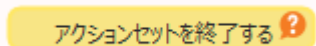
- ・条件により処理を分岐したいとき



- ・処理を繰り返したいとき（指定した回数分）



- ・アクションセットを終了したいとき



CELFAプリの基本：③アクションセット～アクション紹介～

セル操作

シート操作

データ操作

制御

ファイル操作

ファイルを操作するためのアクションがあります。
以下は「ファイル操作」アクションの一例です。

- ・ EXCELファイルのデータをセルにセットしたいとき

Excel ファイルのデータをセルにセットする ?

ポップアップで選択する
 指定パスを使用する

読み取り対象 Excel シート名

セット先指定 + ?

セル を起点に Excel ファイルの をセットする

- ・ ファイルダイアログを開きたいとき

ファイルダイアログを開く ?

ファイルダイアログの種類

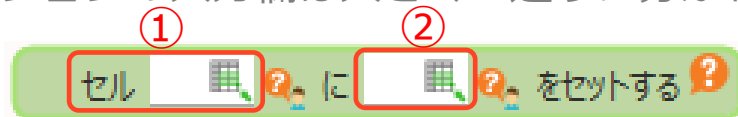
ファイルの拡張子

選択されたファイルのパスをセル にセットする

CELFAプリの基本：③アクションセット～入力欄について～

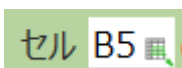
入力欄について

アクションの入力欄は大きく2通りに分かります。

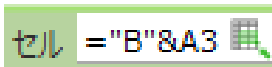


① 「セル」が付いている入力欄

A1やB5のような形式のセルのアドレスを指定します。



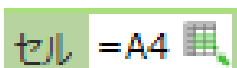
=で始めることによって、数式を使ってアドレスを指定することもできます。



B列の5（A3セルに入力されている値）行となり、B5が指定されます。

	A	B
1		
2		
3	5	
4	B5	
5		

←いずれの例もB5セルが指定されます。





B5（A4セルに入力されている値）が指定されます。




CELFAプリの基本：③アクションセット～入力欄について～

②「セル」が付いていない入力欄

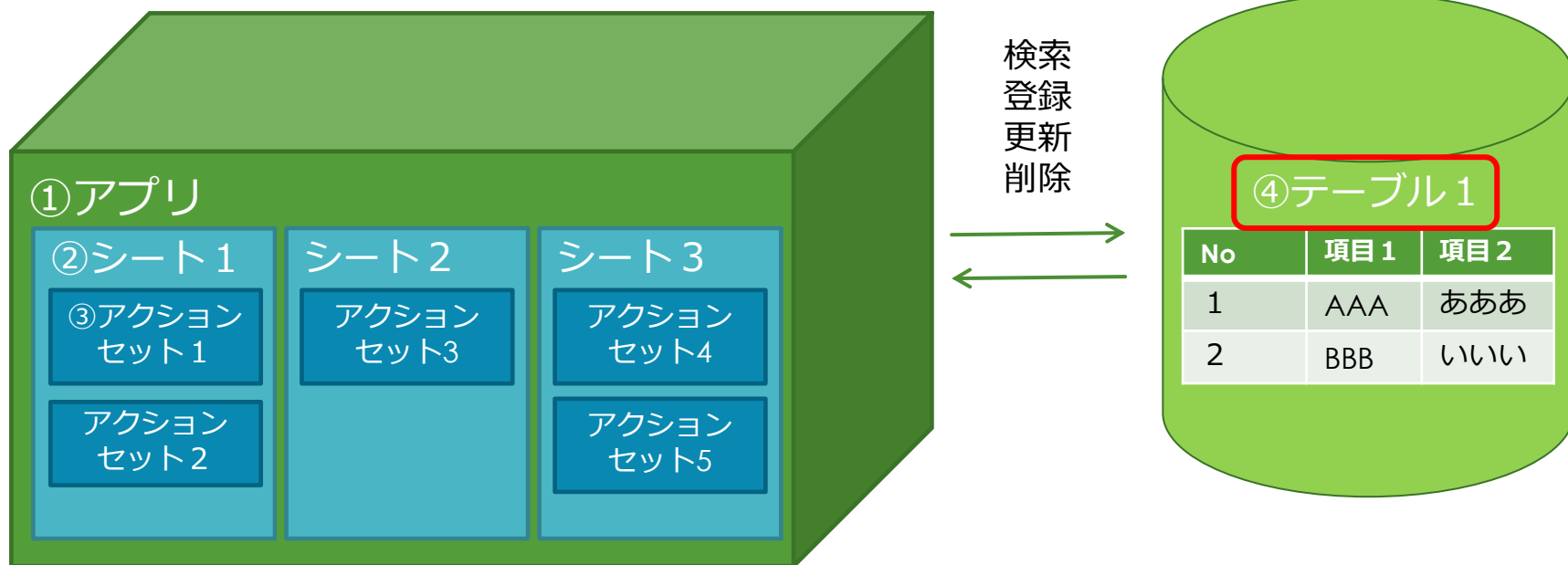
値を直接入力して指定します。

入力値	認識される値	備考
123 	123	数値として認識されます。
B5 	B5	文字列として認識されます。 セルのアドレスとは認識しません。

=で始めることによって、数式を使って値を指定することもできます。

入力値	認識される値	備考
=1+2 	3	数式を計算した結果が認識されます。
=B5 	B5セルの値	セルのアドレスと認識し、B5セルに入力されている値が使用されます。
=SUM(B5:B10) 	B5～B10セルの値の合計	関数の結果が認識されます。 この場合、B5セルからB10セルに入力されている値の合計となります。

CELFアプリの基本：④テーブル



CELFアプリの基本：④テーブル

テーブルとは

業務アプリで入力したデータをまとめて格納する箱がテーブルです。

テーブルの作成

テーブルを新規に作成し、テーブル名や項目名（カラム名）、項目のデータ型（文字列、数値、日付など）を指定します。

テーブルデータの利用

作成したテーブルのデータは、データ操作アクションを用いてアプリから登録、更新、削除、参照できるようになります。

また、テーブル管理機能を使ってCSVファイルのデータを登録することもできます。

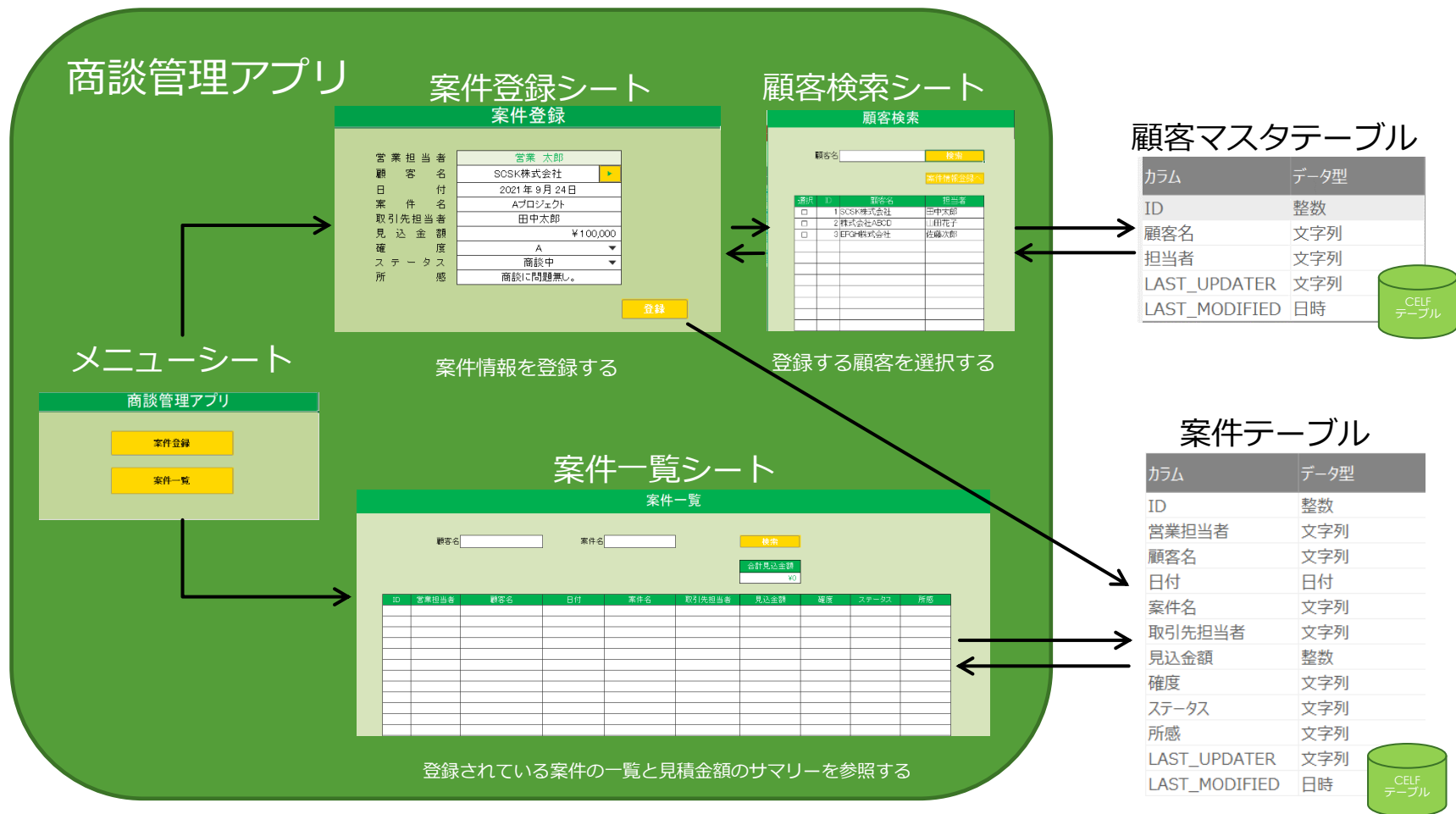
つくるを学ぶ

～「商談管理アプリ」を作ってみる～



CEL F

商談管理アプリ：全体概要図



目次

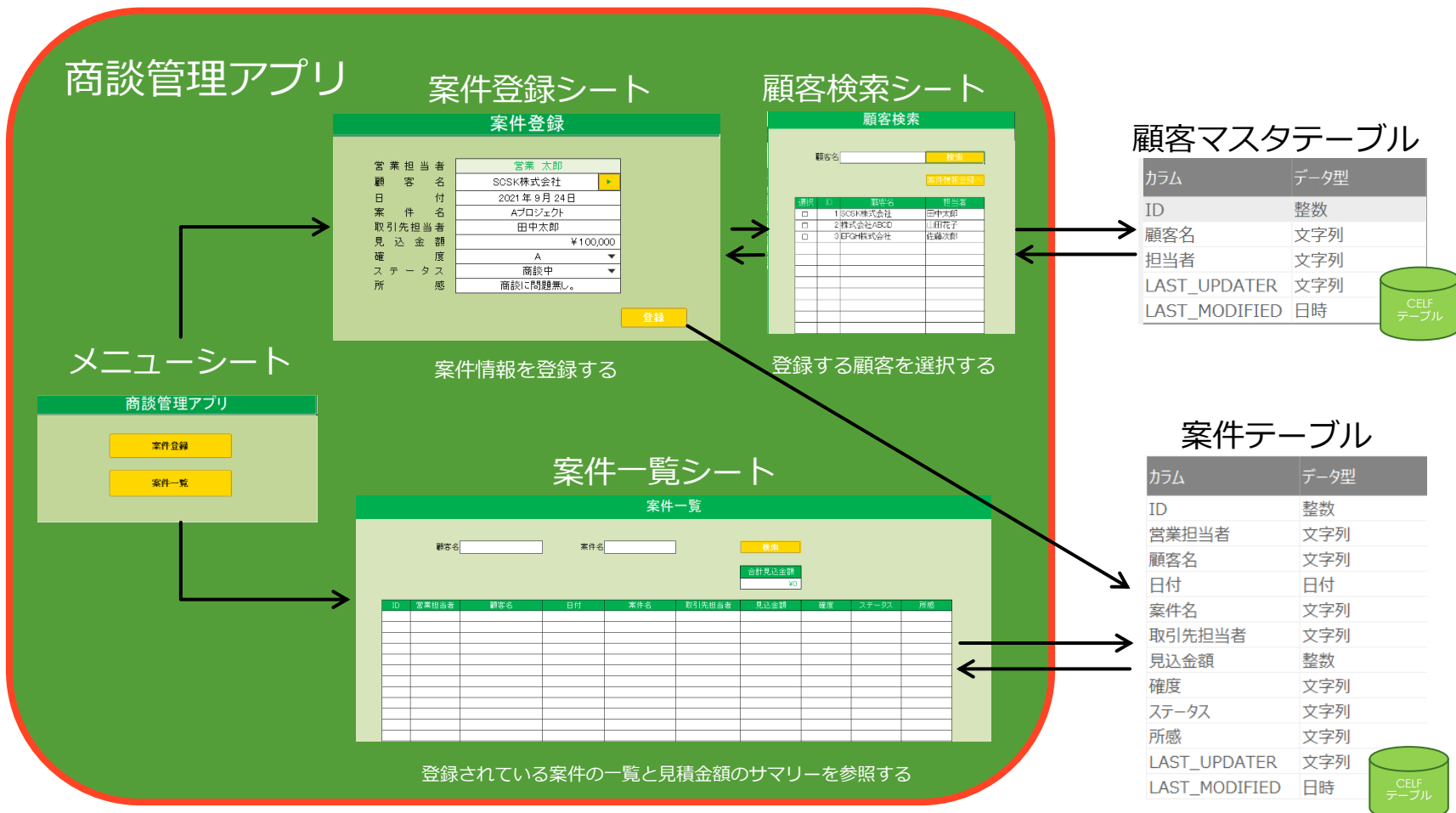
1. アプリを作成する
2. シートを作成する
3. テーブルを作成する
 - 3-1. テーブル作成
 - 3-2. 初期データ登録
4. アクションセットを作成する
 - 4-1. メニュー
 - 4-2. 案件登録
 - 4-3. 顧客検索
 - 4-4. 案件一覧
5. アプリを公開する
6. アプリを使う

1. アプリを作成する



1. アプリを作成する

業務アプリを作成するには最初に「アプリ」の作成から始めてください。
本セミナーではアプリを一から作成する「新規作成」の方法で説明します。





アプリの作成（新規作成）

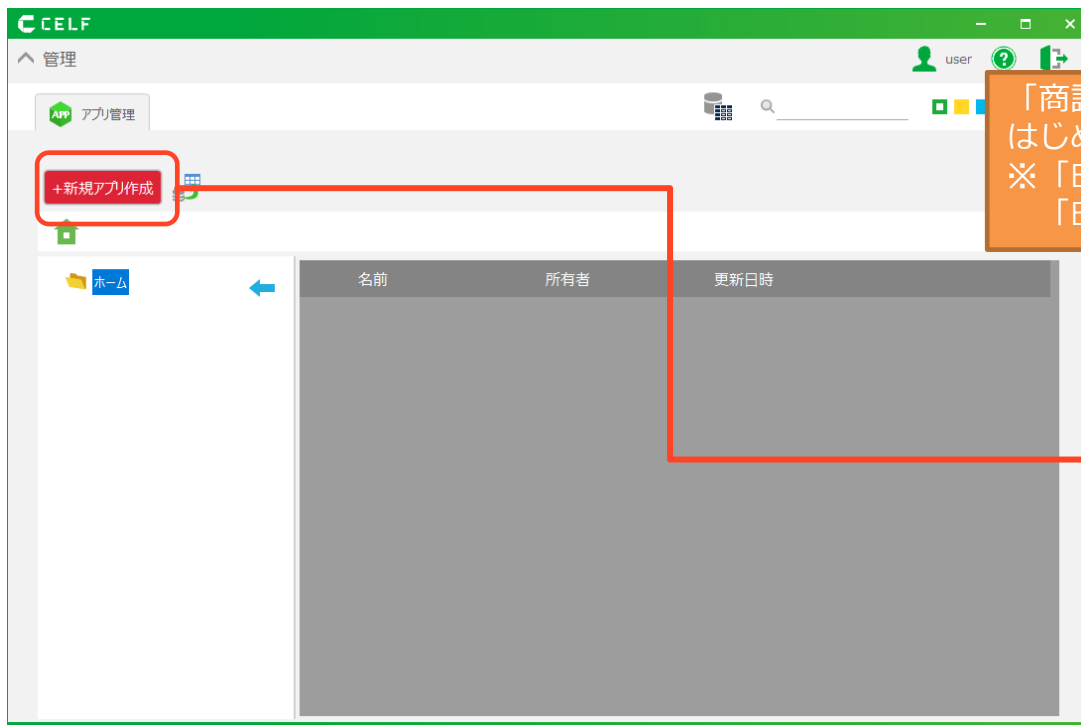
①管理アイコンをクリックして管理画面を開きます。アプリの作成は管理画面で行います。



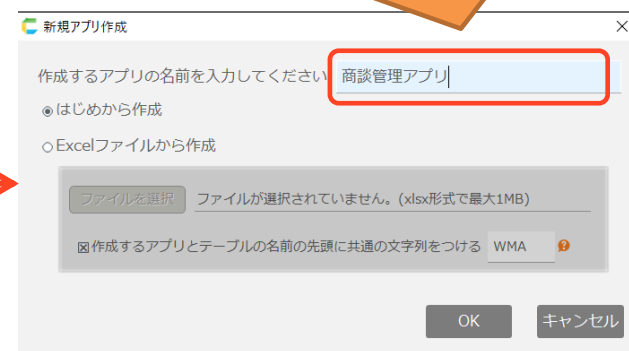


アプリの作成（新規作成）

② 「新規アプリ作成」 ボタンをクリックし、アプリを作成します。



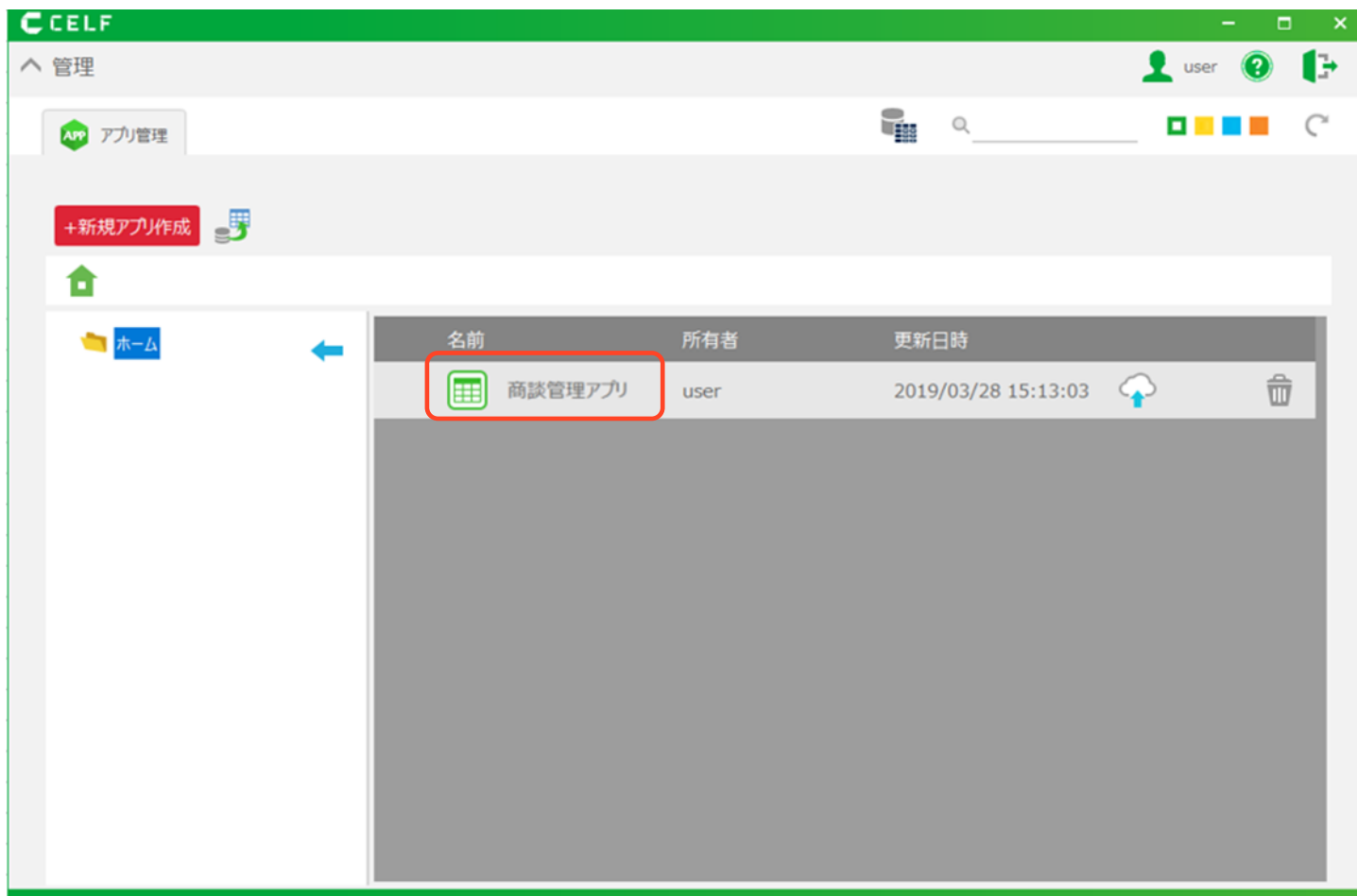
「商談管理アプリ」と入力し、
はじめから作成にチェックを入れます
※「EXCELから自動作成」の場合は
「Excelファイルから作成」にチェックを入れます





アプリの作成（新規作成）

③ 「商談管理アプリ」が作成されていることを確認します。

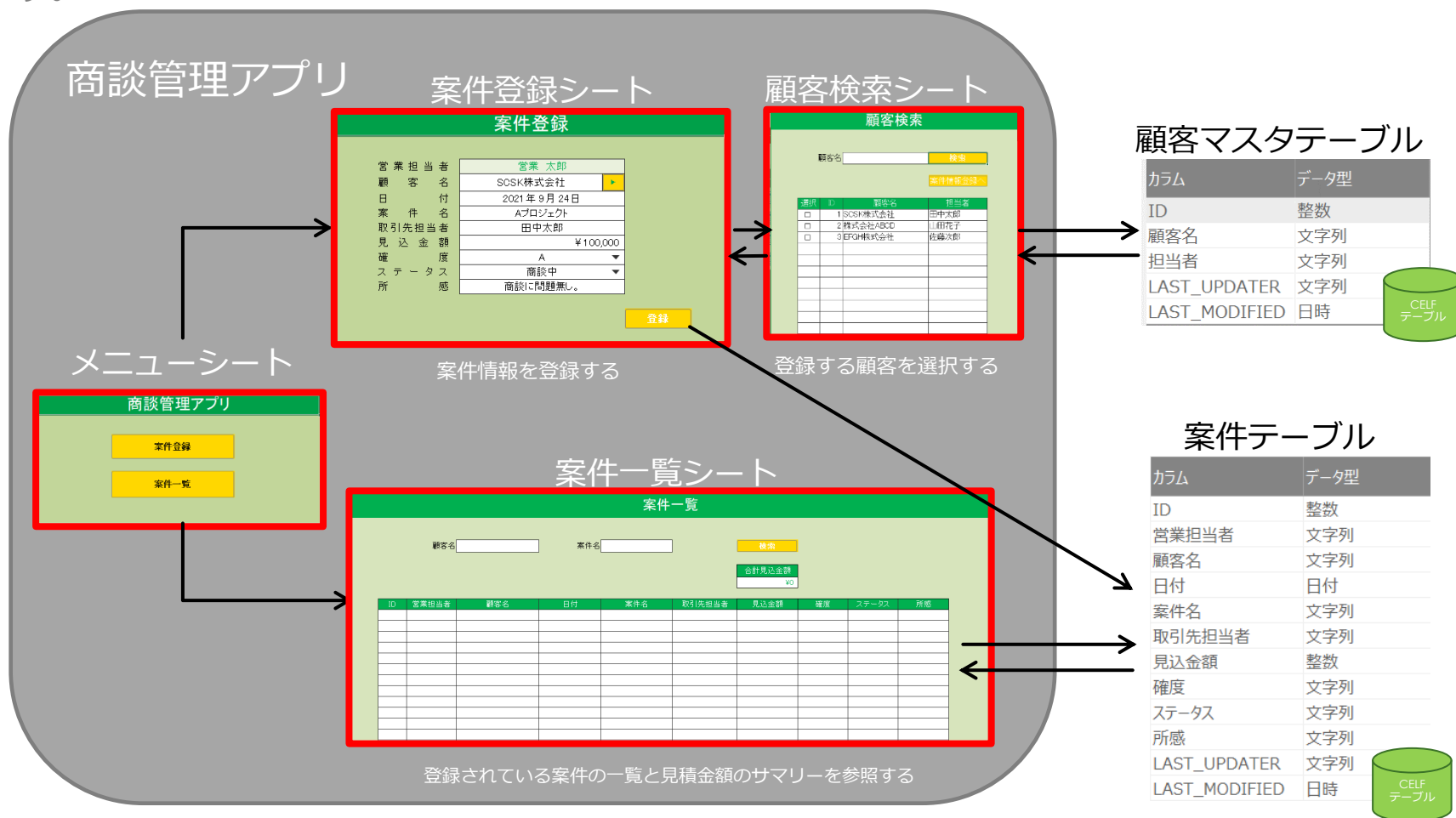


2. シートを作成する



2. シートを作成する

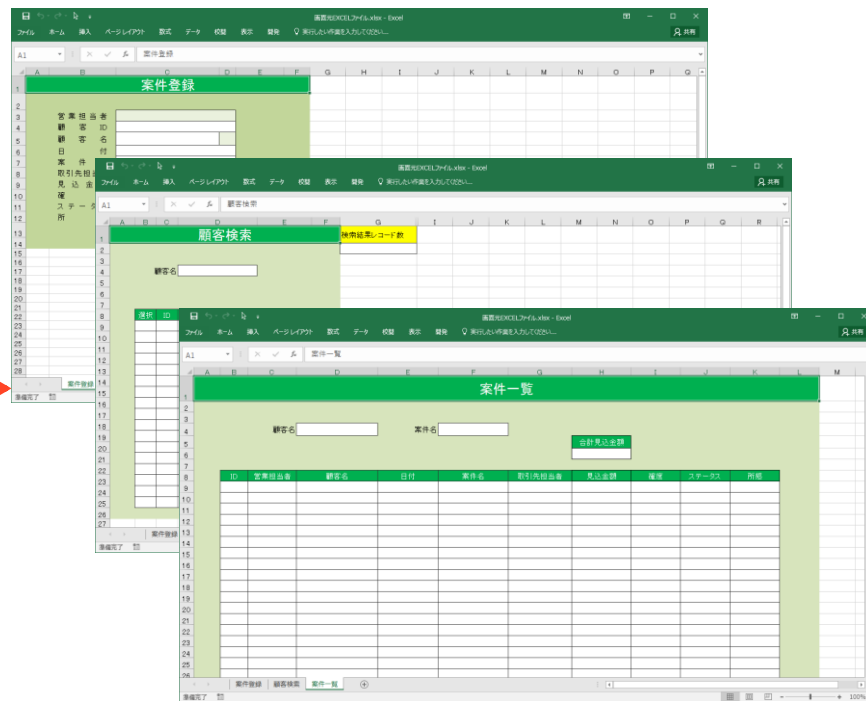
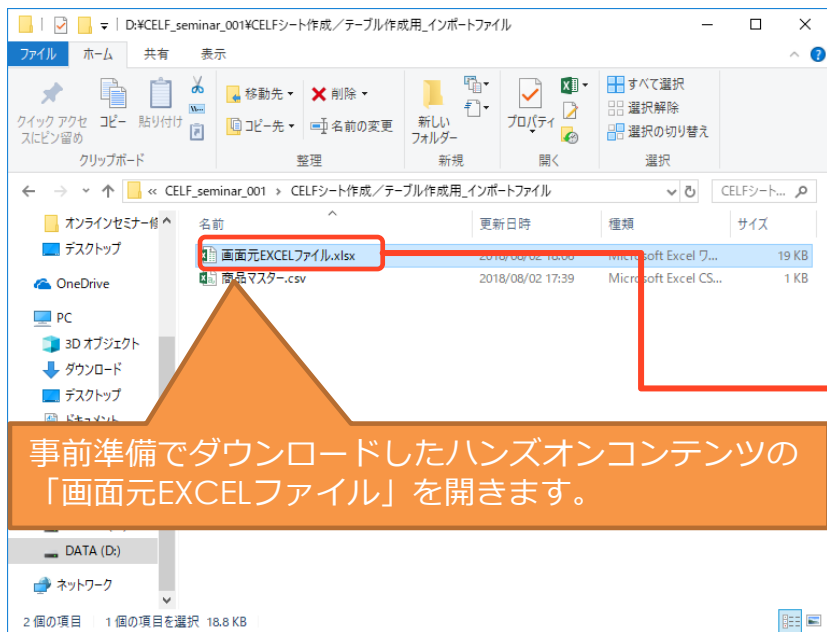
アプリ作成後は、アプリで利用するシート（画面）を作成してください。
今回のアプリでは「既存EXCELからインポート」「新規作成」の2通りの方法で作成します。





シートの作成（既存EXCELをインポート）

①画面元EXCELファイルを確認します。



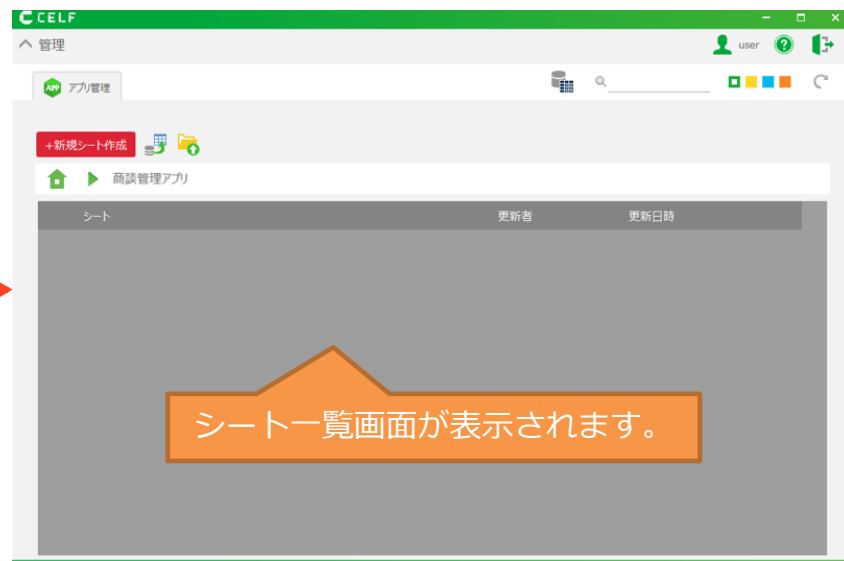
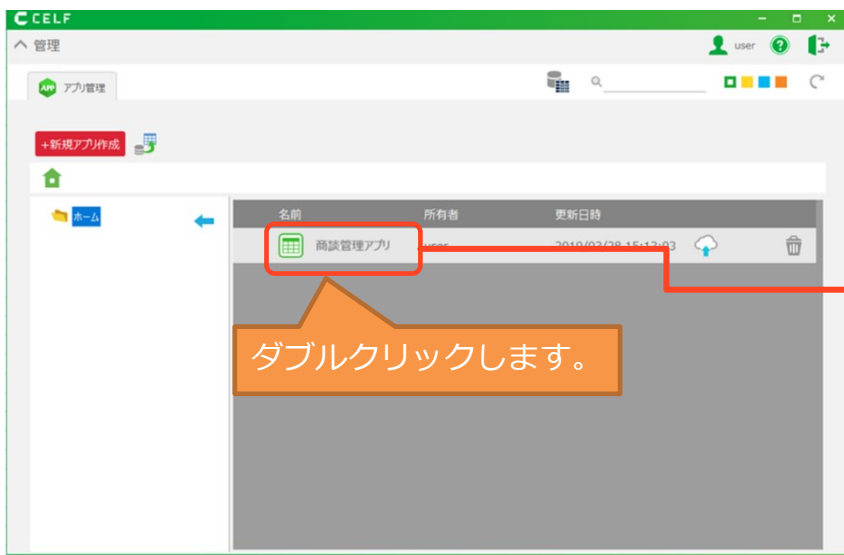
これから作成するCELFSheet（画面）のレイアウトがあらかじめ用意されていることを確認します。





シートの作成（既存EXCELをインポート）

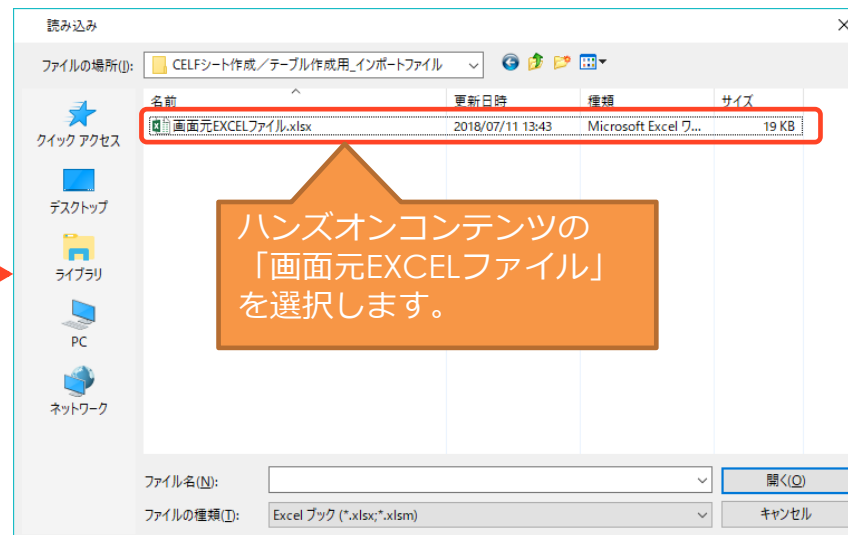
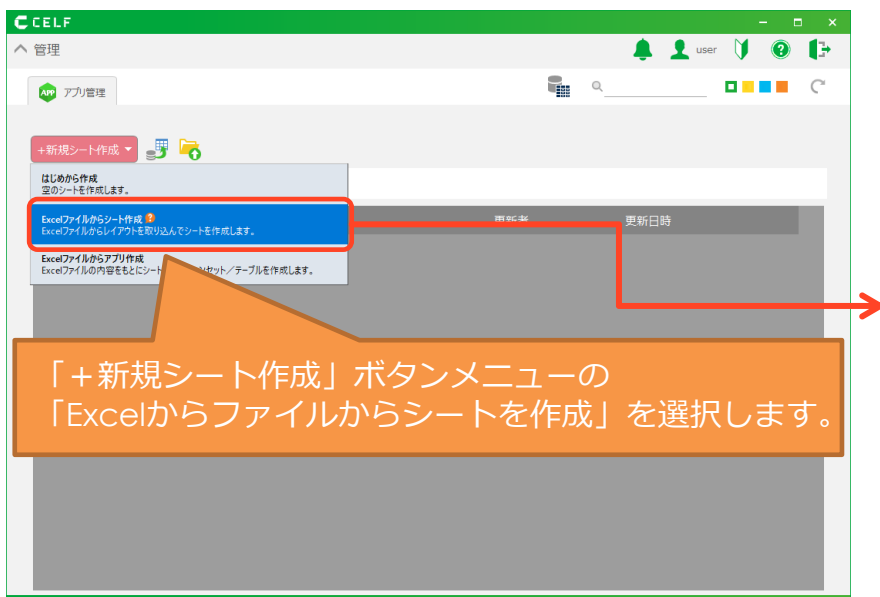
② 「商談管理アプリ」をダブルクリックします。





シートの作成（既存EXCELをインポート）

③ インポートするEXCELを選択します。

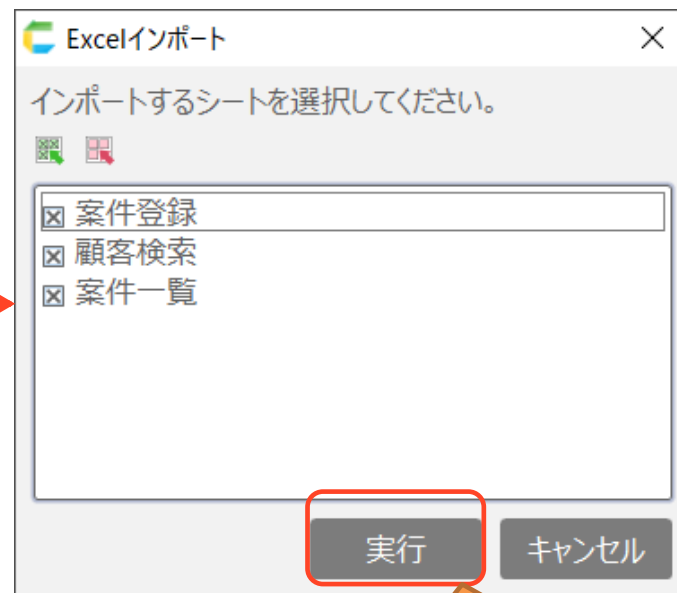
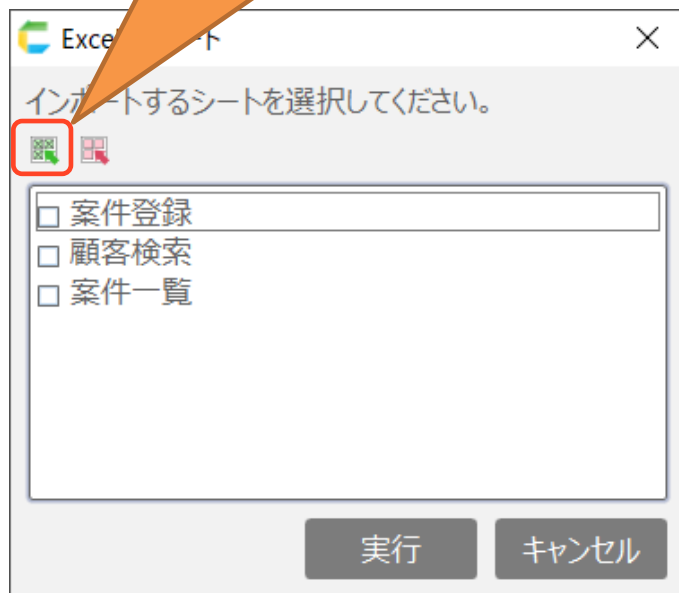




シートの作成（既存EXCELをインポート）

④ インポートするシートを選択します。

全てのシートをインポートする際は、
こちらをクリックします。

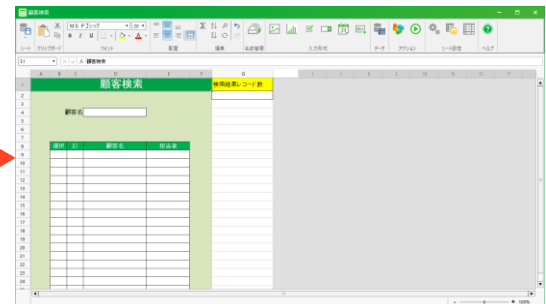
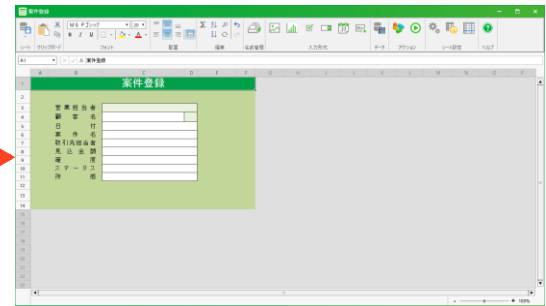
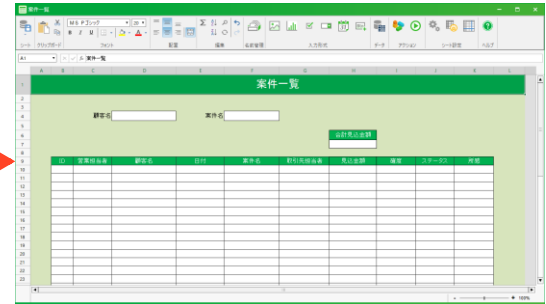
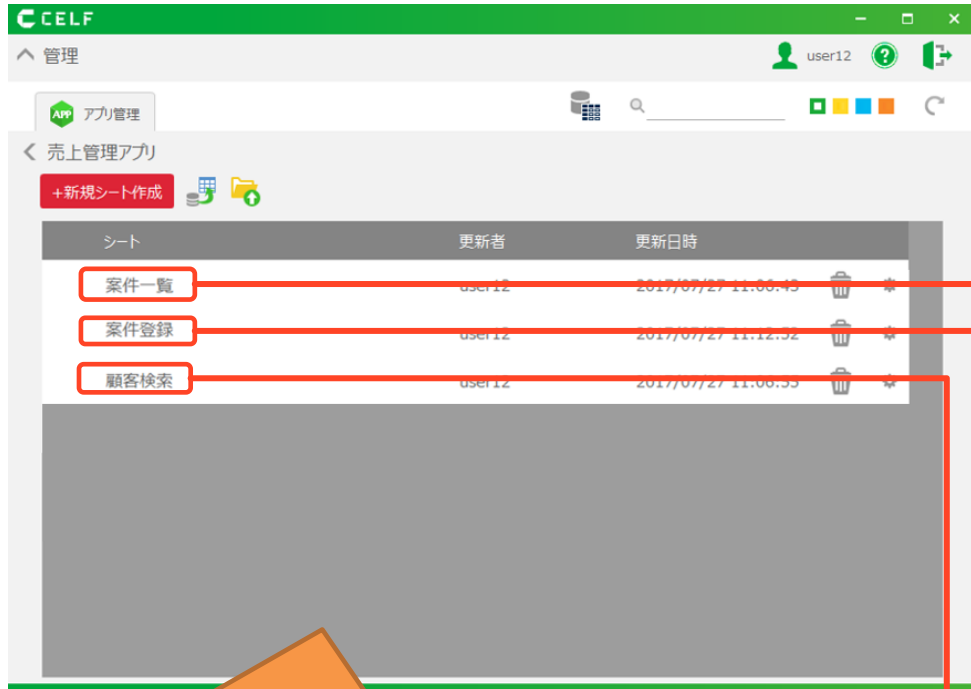


インポートするシートにチェックを付けて、
実行をクリックします。



シートの作成（既存EXCELをインポート）

⑤ インポート結果を確認します。

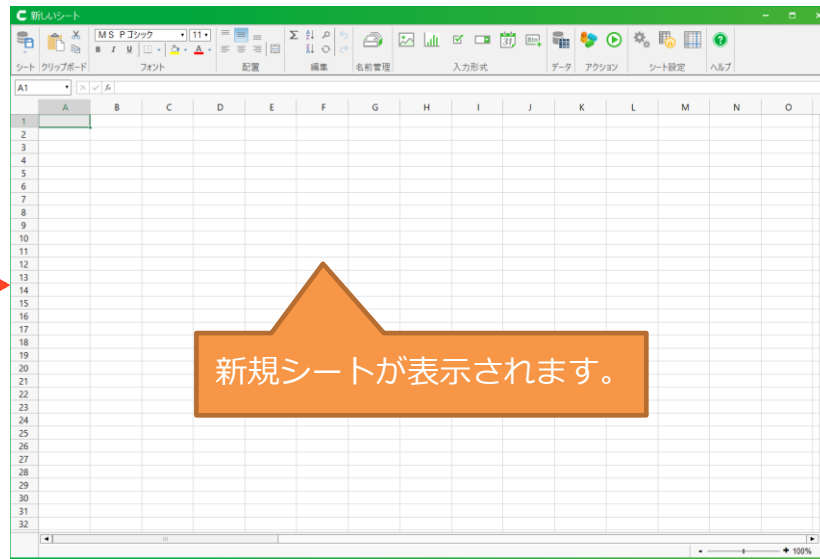
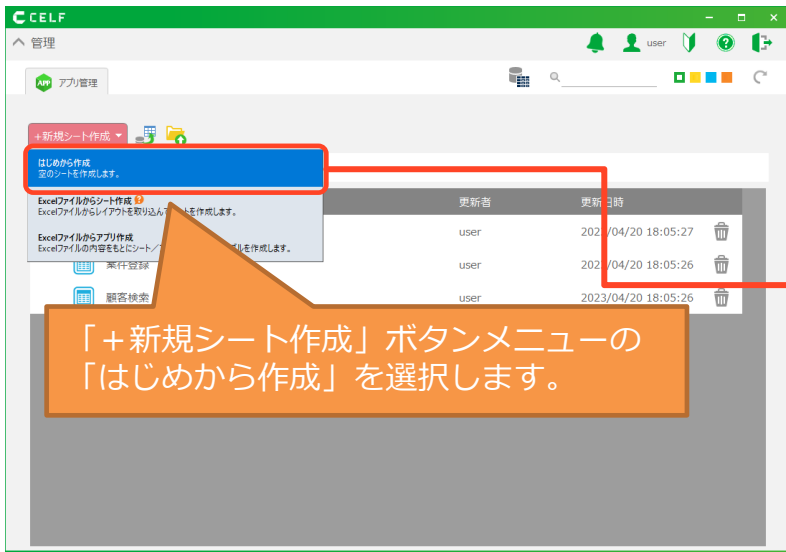


シート名をダブルクリックするとシートが表示されます。
それぞれの画面レイアウトができていることを確認します。
これらのシートをもとに、ボタンやアクションなどを追加します。



シートの作成（新規作成）

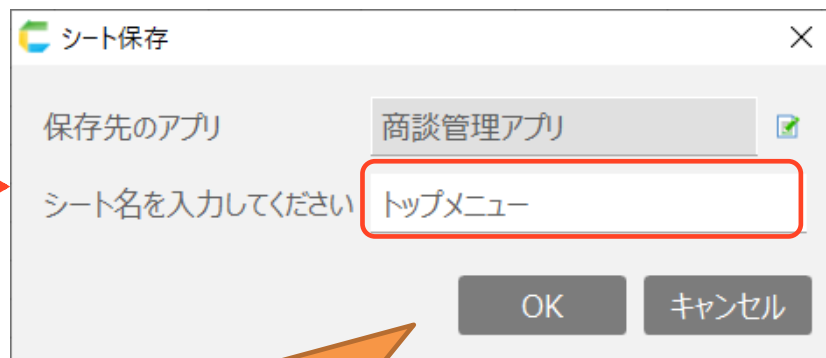
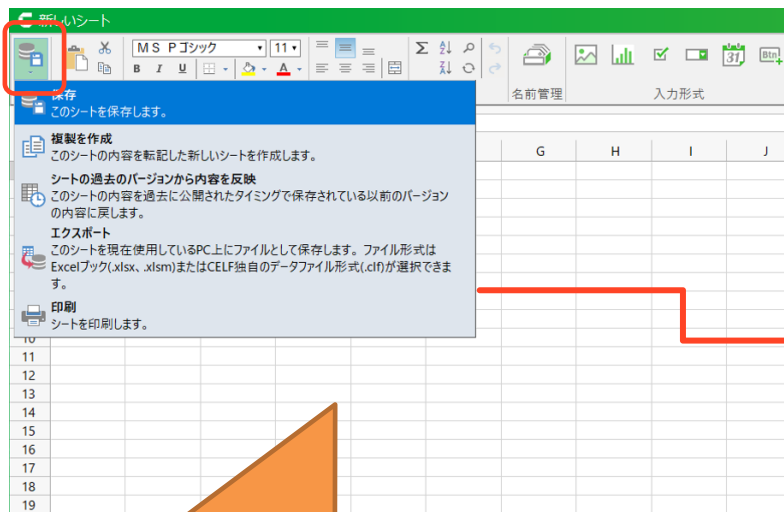
①次にメニューシートを新規作成します。





シートの作成（新規作成）

②シートを保存し、シート名を入力します。



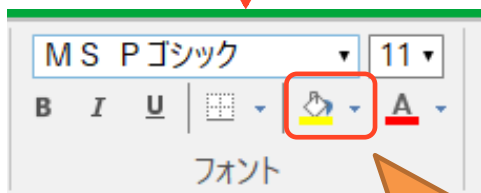
リボンメニュー左端の「シート」ボタンをクリックし、一番上の「保存」をクリックします。

「シート保存」画面が開くので、シート名に「トップメニュー」と入力しOKをクリックします。



シートの作成（新規作成）

- ③メニューシートのレイアウトを編集します。
- ・最初にセルの背景色を設定します。



	A	B	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

リボンメニュー「フォント」から背景色の選択ボタンをクリックし、右図になるよう各セルの背景色を設定します。



シートの作成（新規作成）

- レイアウトを調整するため、行・列の幅を変更します。



	A	B	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				



	A	B	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				



Excelと同じように幅を調整したい行・列の見出しにカーソルを持っていきます。行・列の境目にカーソルを置くと矢印が出てくるので好きな幅までドラッグします。



シートの作成（新規作成）

- ・メニューシートのタイトルを入力します。



	A	B	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

A1:C1を選択した状態で、
リボンメニュー「配置」から
「セルを結合して中央揃え」ボタンを
クリックします。

	A	B	C	D
1	商談管理アプリ			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

A1:C1が結合・中央揃えになったら
「商談管理アプリ」と入力します。
リボンメニュー「フォント」を利用して、
フォントの大きさ・色を調整します。

シートの作成（新規作成）

④シートの行数と列数を調整します。

シート設定

一般 アクション 公開

シート行数 7

シート列数 3 (列ラベル: C)

枠線を表示する

小数点として',' (カンマ)、桁区切り記号として'.' (ピリオド) を使用する

互換性オプション

数値に変換できる文字列同士の大小比較は数値として比較する

24:00以上の時間を入力した場合、表示形式を時刻に変更しない

数値を偶数丸めで表示する

入力禁止セルのチェックボックス、リスト、カレンダーへの値の貼り付けを禁止する

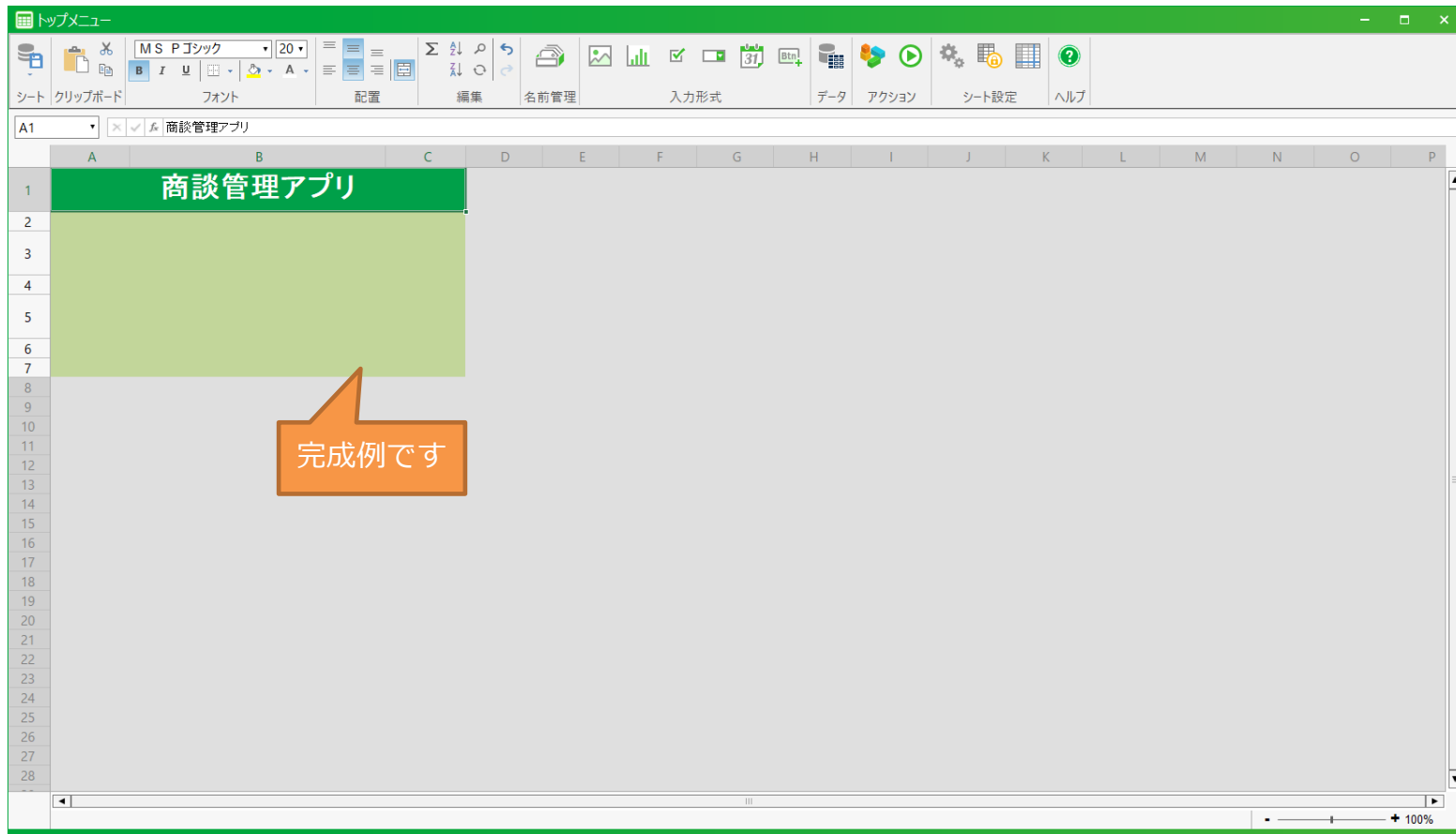
OK キャンセル

リボンメニュー「シート設定」より「シート設定」ボタンをクリックし、シート行数7、シート列数3と入力しOKボタンをクリックします。



シートの作成（新規作成）

- ⑤以下のようなレイアウトになります。
保存してシートを閉じます。

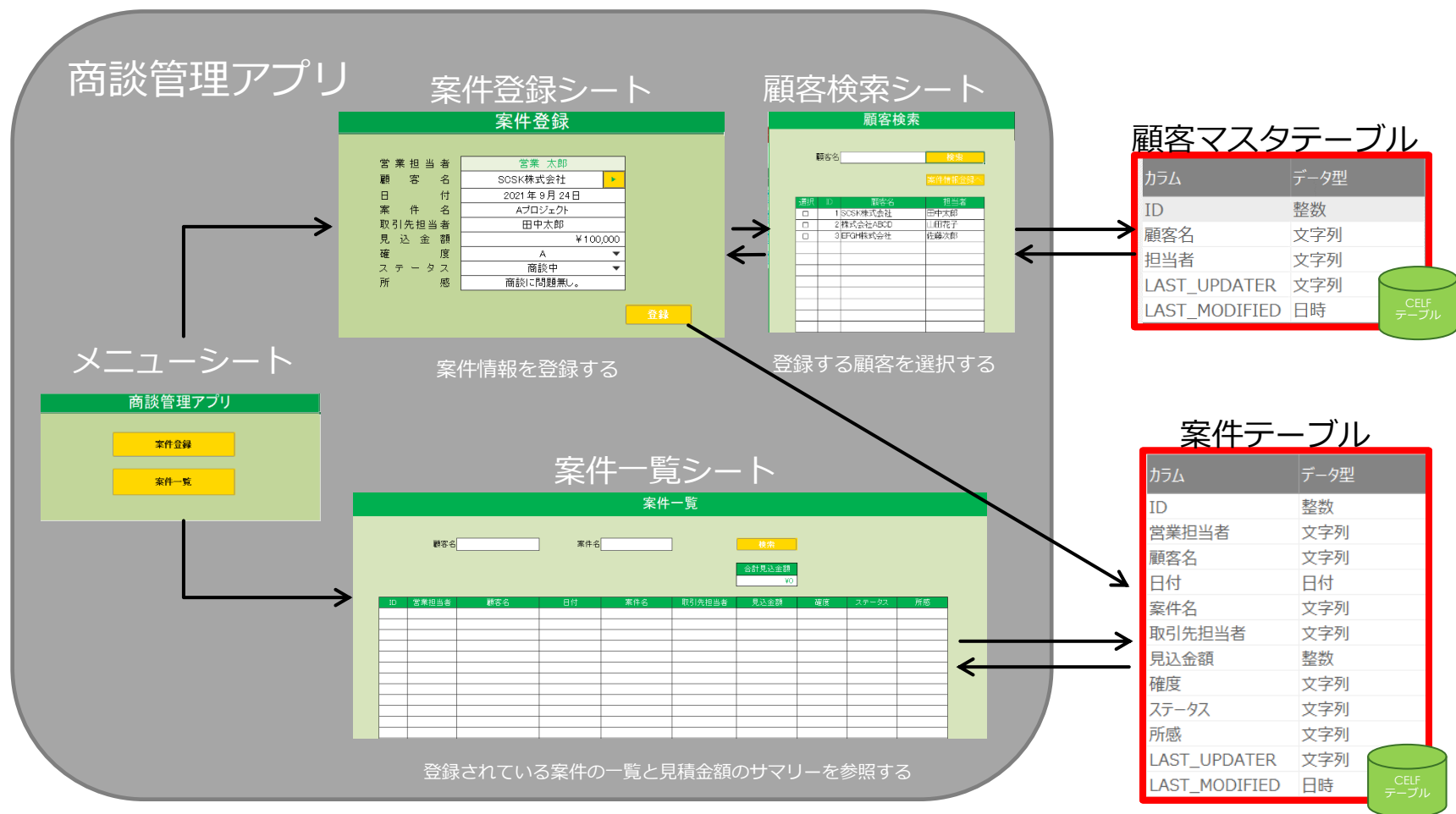


3. テーブルを作成する



3. テーブルを作成する

アプリ上の入力データを保存したい場合はテーブルを作成します。



3 - 1. テーブル作成





テーブル作成

① 「テーブル管理」 をクリックします。



CEL F

管理

user

アプリ管理

+新規シート作成

商談管理アプリ

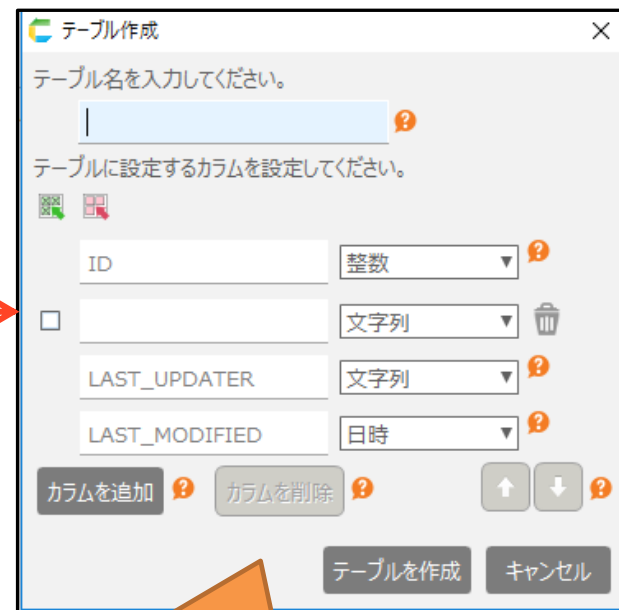
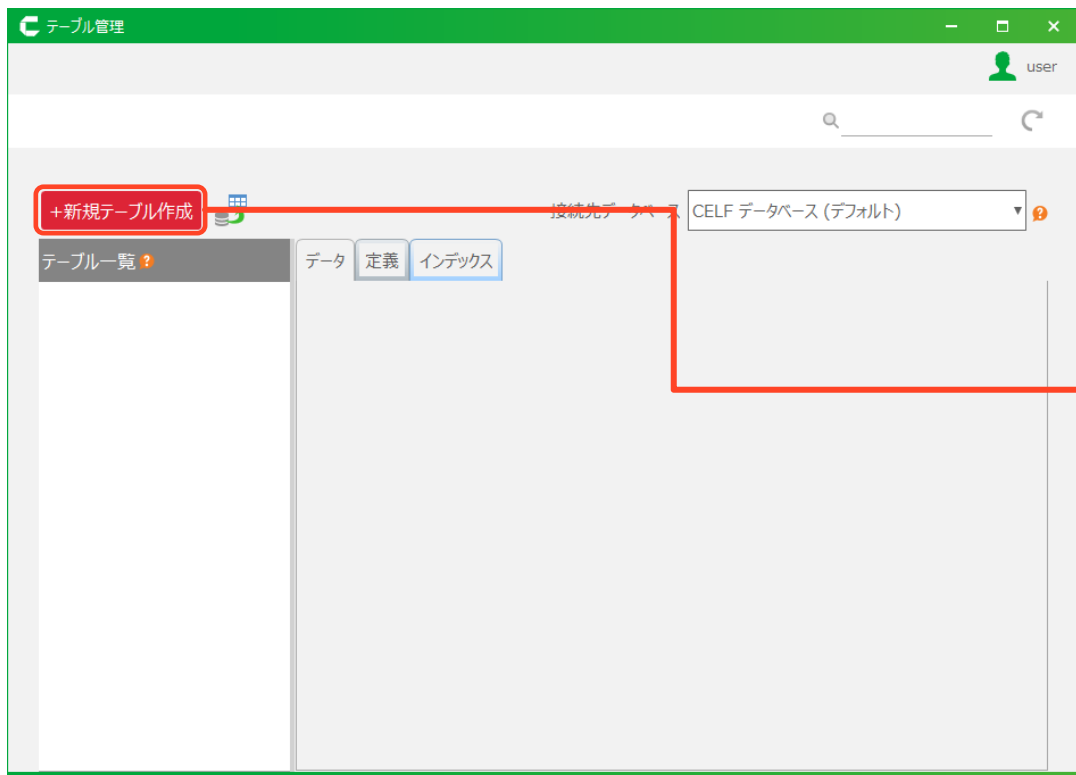
シート	更新者	更新日時
トップメニュー	user	2019/03/28 15:22:37
案件一覧	user	2019/03/28 15:22:37
案件登録	user	2019/03/28 15:22:37
顧客検索	user	2019/03/28 15:22:37

こちらをクリックします。



テーブル作成

② 「新規テーブル作成」 ボタンをクリックします。



テーブル作成ダイアログが開きます。

テーブル作成

- ③テーブル定義を入力します。
 (2つ目のテーブルを作る際には、もう1度①と②の手順を実施します。)

テーブル作成

テーブル名を入力してください。

テーブルに設定するカラムを設定してください。

項目名 (カラム) を入力します。

データ型を選択します。

項目を追加

項目を削除

↑

↓

テーブルを作成

キャンセル

項目を追加する場合はこちらをクリックします。

クリックすることでテーブルが作成されます。

テーブル名 : 顧客マスタテーブル

項目名 (カラム)	データ型	説明
ID	整数	※自動採番
顧客名	文字列	顧客名が登録される項目
担当者	文字列	顧客担当者が登録される項目
LAST_UPDATER	文字列	※自動登録
LAST_MODIFIED	日時	※自動登録

テーブル名 : 案件テーブル

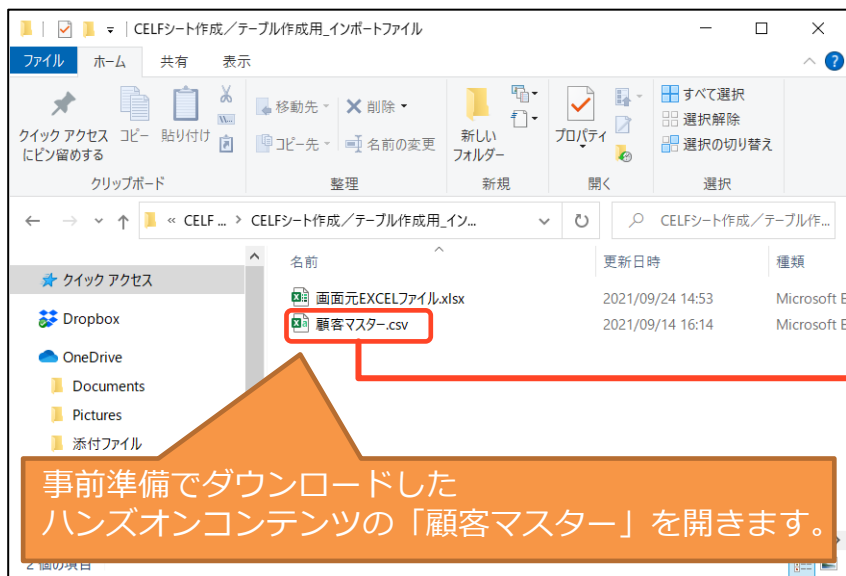
項目名 (カラム)	データ型	説明
ID	整数	※自動登録
営業担当者	文字列	営業担当者が登録される項目
顧客名	文字列	顧客名が登録される項目
日付	日付	日付が登録される項目
案件名	文字列	案件名が登録される項目
取引先担当者	文字列	取引先担当者が登録される項目
見込金額	整数	見込金額が登録される項目
確度	文字列	確度が登録される項目
ステータス	文字列	ステータスが登録される項目
所感	文字列	所感が登録される項目
LAST_UPDATER	文字列	※自動登録
LAST_MODIFIED	日時	※自動登録

3 - 2. データ初期登録



データ初期登録

①顧客マスターのCSVファイルを確認します。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	顧客名	担当者									
2	SCSK株式会社	田中太郎									
3	株式会社ABCD	山田花子									
4	EFGH株式会社	佐藤次郎									
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											

顧客の情報が記載されていることを確認します。
作成したテーブルの項目名と、
CSVデータのヘッダーが一致していることを確認します。

データ初期登録

② CSVデータを登録します。

テーブル管理

右クリックするとメニューが表示されます。
メニューの「テーブルデータのインポート」をクリックすると、テーブルデータのインポート画面が開きます。

顧客マスターテーブル

- テーブル定義の編集
- テーブル定義の複製
- テーブル定義のエクスポート
- テーブルデータのエクスポート
- テーブルデータのインポート
- 権限設定
- テーブルを削除
- テーブルからシート作成

読み込み

ファイルの場所(D): CELFシート作成/テーブル作成用_インポートファイル

名前	更新日時	種類
顧客マスター.csv	2023/09/14 16:34	Microsoft Excel

ハンズオンコンテンツの「顧客マスター」を選択します

「開く」ボタンをクリックします

開く(O)

テーブルデータのインポート

顧客マスターテーブル

このテーブルに「CSV ファイル (拡張子.csv)」のデータを読み込んで登録します。
一度に読み込めるファイルの最大サイズは200MBです。

ファイル名: #CELFシート作成/テーブル作成用_インポートファイル\顧客マスター.csv

- 指定したIDで登録する
- 指定したLAST_UPDATER、LAST_MODIFIEDで登録する
- テーブルを空にしてから登録する

登録 キャンセル

初期状態では、上2つのチェックボックスがONになっていますが、今回はOFFにしてください。
OFFにした場合は、IDやLAST_UPDATERなどはCELFで自動で付与します。ONの場合はCSVファイル内のIDやLAST_UPDATERの値が格納されます。

最後に「登録」ボタンをクリックします

データ初期登録

③登録データを確認します。

The screenshot shows the 'テーブル管理' (Table Management) interface. The connection database is set to 'CELLF データベース (デフォルト)'. The '顧客マスタテーブル' (Customer Master Table) is selected, and the 'データ' (Data) tab is active. The table contains three rows of data, which are highlighted with a red box. An orange callout box points to the table name with the text 'ダブルクリックします。' (Double-click).

ID	顧客名	担当者	LAST_UPDATE	LAST_UPDATE
1	SCSK株式会社	田中太郎	user	202
2	株式会社ABCD	山田花子	user	202
3	EFGH株式会社	佐藤次郎	user	202

CSVデータが登録されていることを確認します。

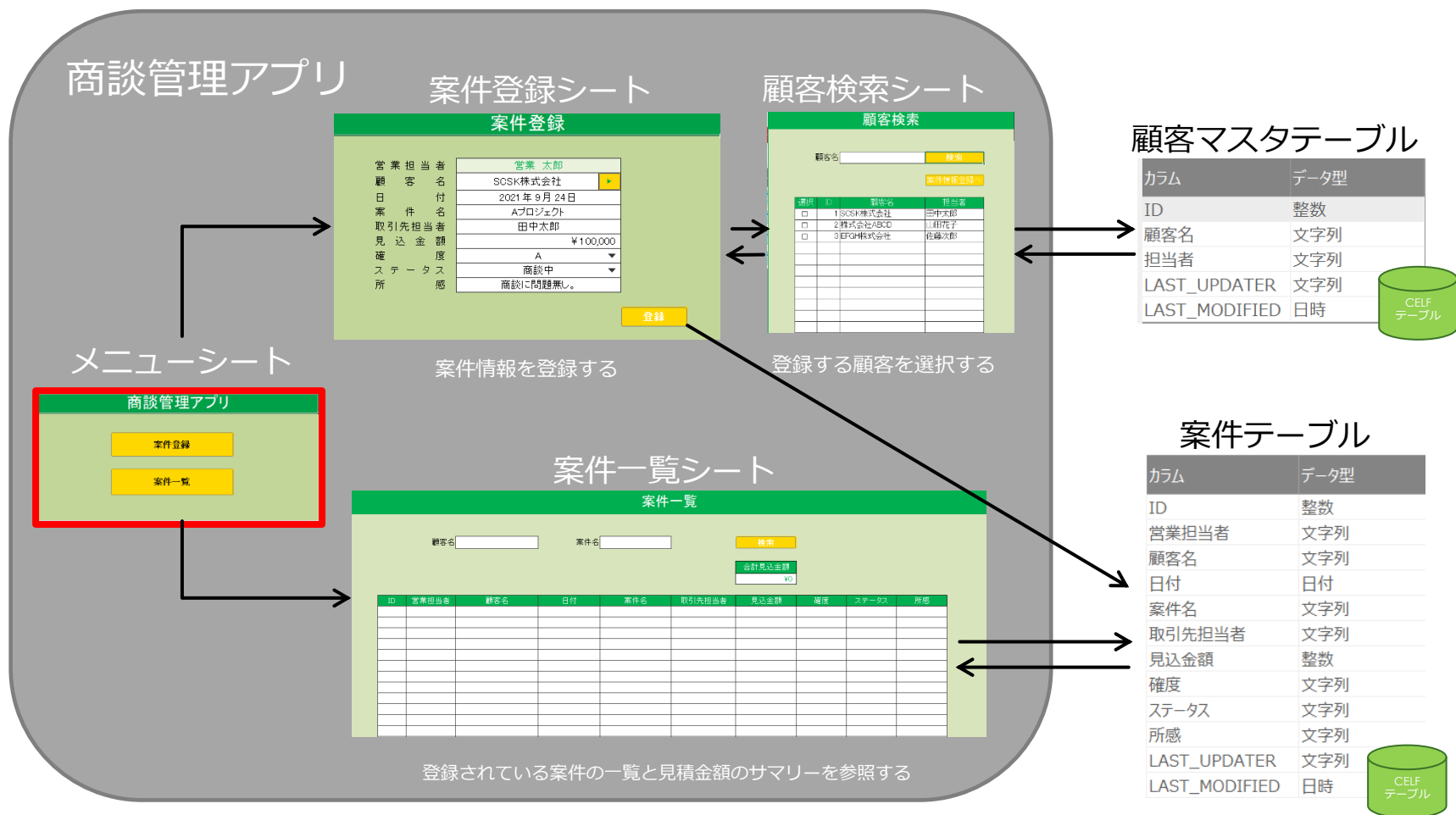
4. アクションセットを作成する



4-1. メニュー

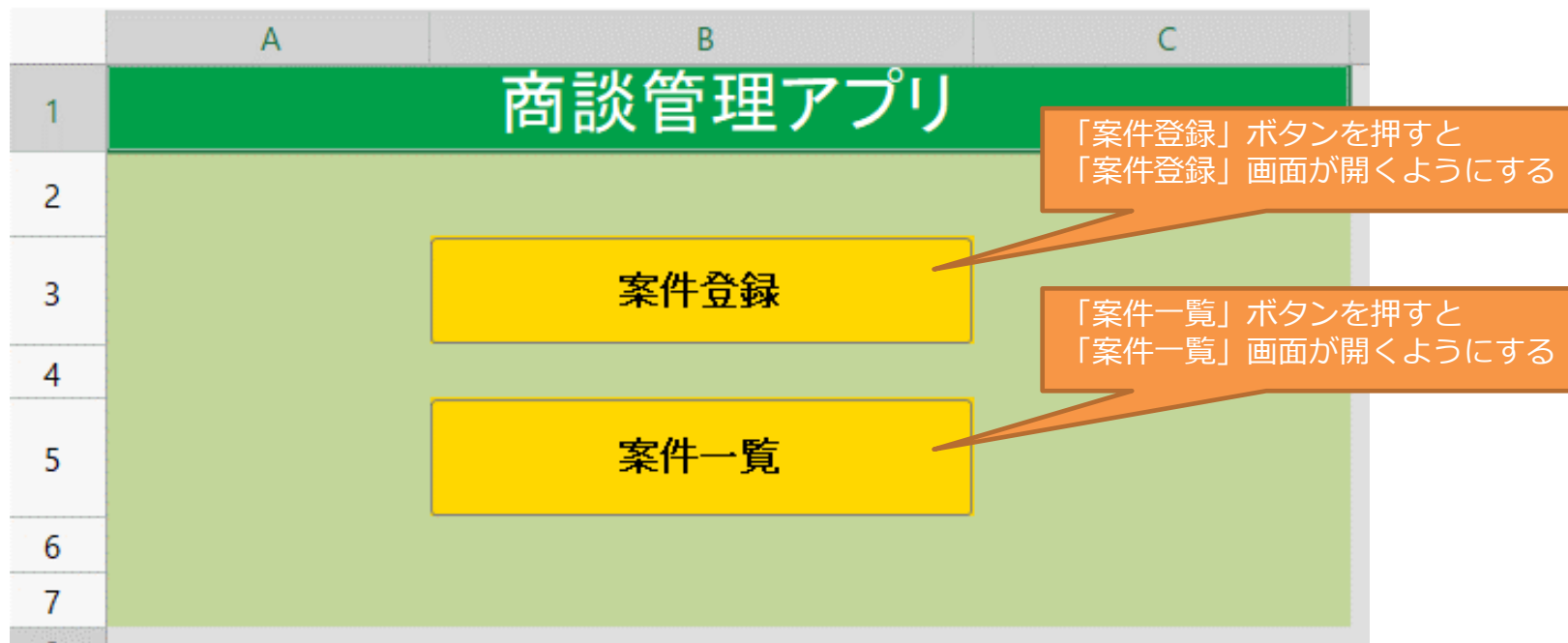


4-1. メニュー



4-1. メニュー

実現したい動き



～アクションセットを作成する～

これから以下の順にアクションセットの作成を説明していきます。

- ・ **画面レイアウト**

アクションセットを紐づけるボタンを追加します。

- ・ **アクションセット作成**

CELFに用意されているアクションを組み合わせ、アクションセットを作成します。

- ・ **実行タイミング設定**

作成したアクションセットを実行するタイミングを設定します。

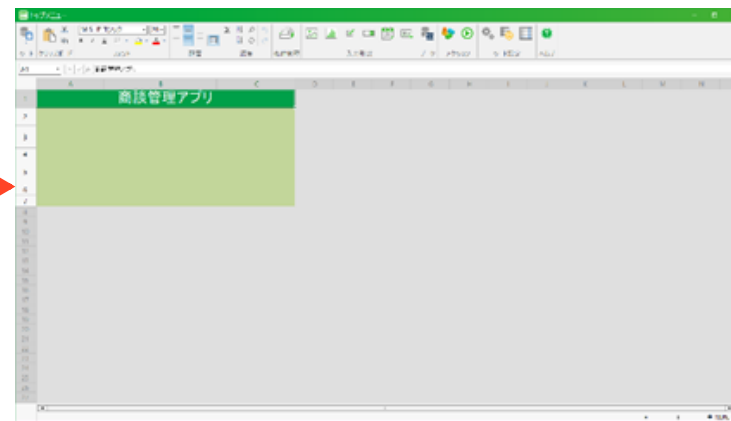
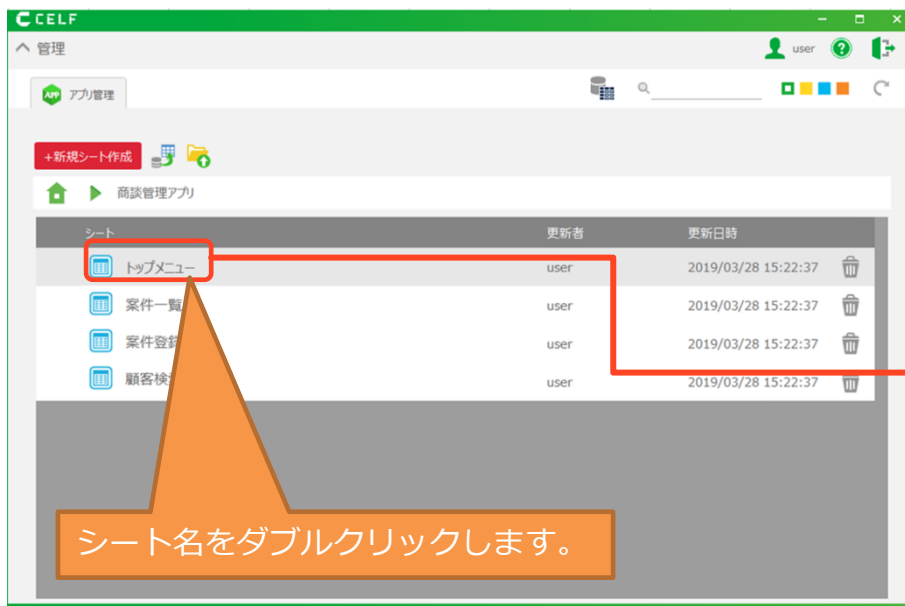
- ・ **動作確認**

アプリをテスト実行し、思った通りの動きをするか確認します。



4-1. メニューシートの編集

①メニューシートを表示します。



4-1. メニューシートの編集

- ② 案件登録ボタンを追加します。リボンメニューの「入力形式」から「ボタン」をクリックし、B3セルに配置します。

トップメニュー

MS Pゴシック 11

シート クリップボード フォント 配置 編集 名前管理 入力形式 データ アクシ

クリックします。

商談管理アプリ

B3セルにフォーカスを当てます。

テキスト入力

ボタン名を入力してください 案件登録

OK キャンセル

ボタン名を入力し、OKをクリックします。
ボタン名：案件登録



4-1. メニューシートの編集

③ボタンの書式設定を変更します。



トップメニュー

MS Pゴシック 11

シート クリップボード フォント 配置 編集 名前管理 入力形式 データ アクション シート設定 ヘルプ

B3 案件登録

商談管理アプリ

案件登録

ボタンが表示されます。

右クリックをすると、EXCELと同じ要領でメニューが表示されます。セルの書式設定で、レイアウトを整えてください。

100%



4-1. メニューシートの編集

- ④ 案件登録と同様に「案件一覧」ボタンも作成します。
※ 「案件一覧」ボタンはコピーせずに「案件登録」ボタンと同じ手順で作成して下さい。



	A	B	C
1	商談管理アプリ		
2			
3	案件登録		
4			
5	案件一覧		
6			
7			

画面レイアウト完成イメージ





4-1. メニュー アクションセット作成

⑤アクションセットの作成を開始します。

リボンメニューの「アクション」から「アクションセット設定」をクリックし、「新規アクションセット作成」ボタンで新しいアクションセットの作成を開始します。

The screenshot shows the software interface with the following elements:

- リボンメニュー:** The 'アクション' tab is selected and highlighted in orange. A callout box points to it with the text 'クリックします。' (Click).
- アクションの定義:** A dialog box is open with a '+新規アクションセット作成' button highlighted in red. A red arrow points from this button to the 'アクションセットの新規作成' dialog box.
- アクションセットの新規作成:** A dialog box is open with the text 'アクションセット名を入力してください' and a text input field containing '案件登録起動'. The 'OK' button is highlighted in red. A callout box at the bottom points to the 'OK' button with the text 'アクションセット名を入力し、OKをクリックします。ボタン名：案件登録起動'.





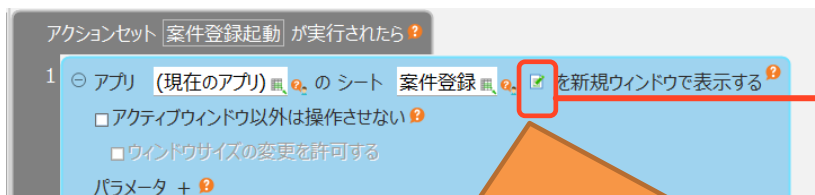
4-1. メニューアクションセット作成

- ⑥ 「案件登録」画面への遷移用のアクションセットを作成します。
シートから別シートを開きたい時にはシート操作アクションを利用します。

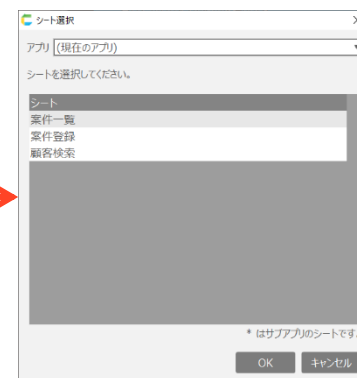
アクションセット名：案件登録起動

動作詳細：トップメニューから、案件登録画面に遷移する

利用アクション：シート操作アクション 上から2番目



クリックして「シート選択」画面から対象シートを選択可能です。

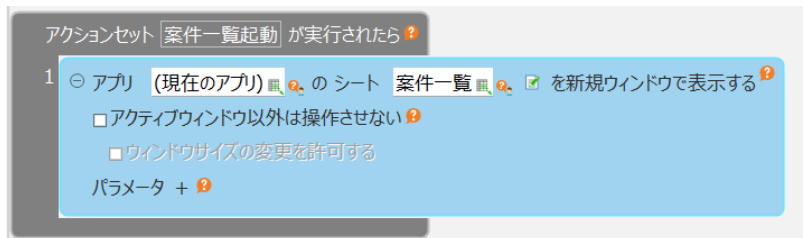


「案件一覧」画面への遷移用アクションセットを「案件登録起動」アクションセットと同じ手順で作成します。

アクションセット名：案件一覧起動

動作：トップメニューから、案件一覧画面に遷移する

利用アクション：シート操作アクション 上から2番目

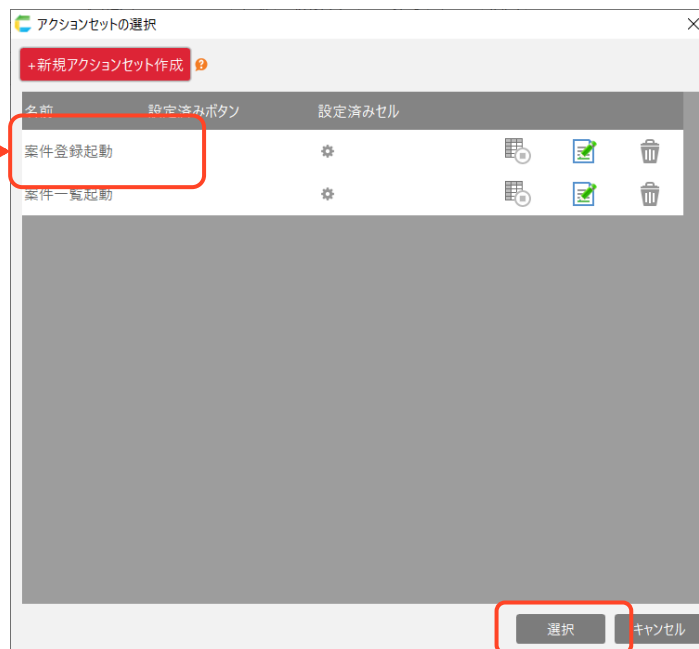
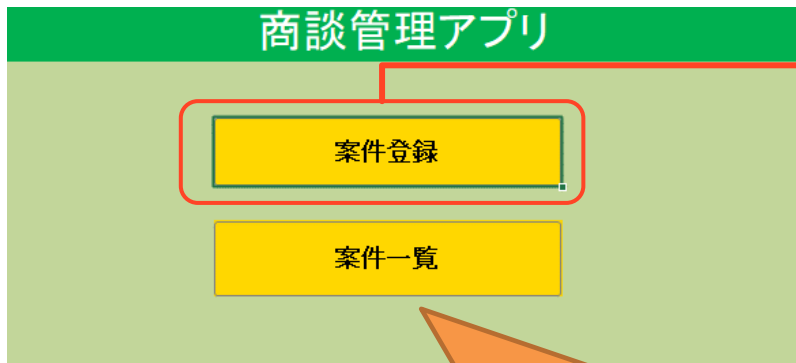




4-1. メニュー アクションセット実行タイミング設定

⑦ ボタンとアクションセットを紐づけます。

この設定により、ボタンを押すと紐づいたアクションが実行されるようになります。
「案件登録」ボタンを押し、「アクションセットの選択」画面から「案件登録起動」アクションを選択します。



案件一覧も同様に、
ボタンとアクションセットの紐づけを行います。
「案件一覧」ボタンと「案件一覧起動」アクション
を紐づけてください。

メニュー 動作確認

⑧テスト実行し、期待通りの動きをするか確認します。

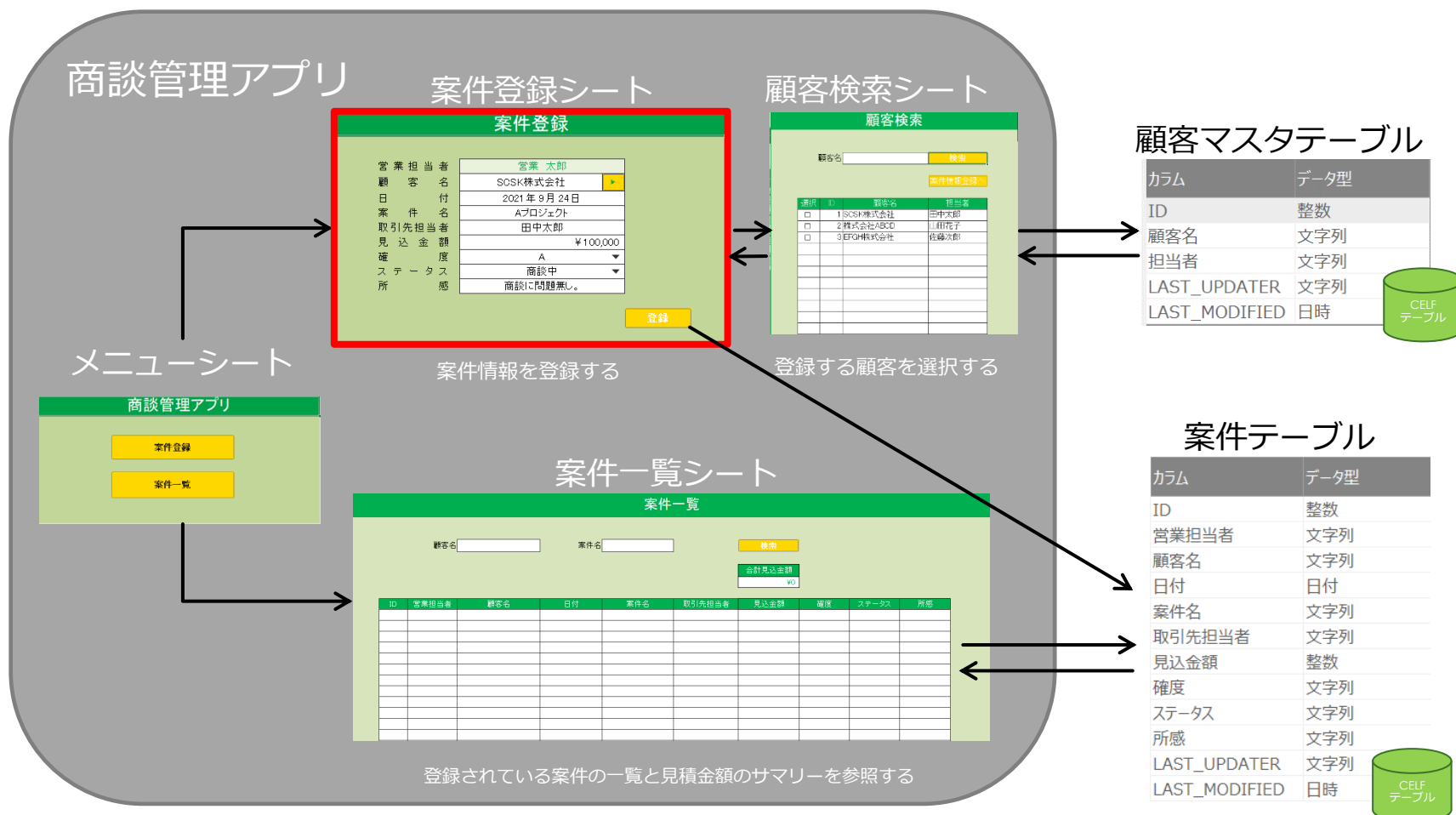
The screenshot shows a spreadsheet application window titled "トップメニュー". The ribbon includes tabs for "シート", "クリップボード", "フォント", "配置", "編集", "名前管理", "入力形式", "データ", "アクション", "シート設定", and "ヘルプ". The "アクション" tab is active, and a red box highlights a play button icon. Below the ribbon, the spreadsheet content is visible, with a green header row containing the text "商談管理アプリ". Below the header, there are two yellow buttons labeled "案件登録" and "案件一覧", which are also enclosed in a red rounded rectangle. A red arrow points from the play button in the ribbon to the "案件登録" button. An orange callout box on the right contains the text: "テスト実行すると動作確認用の画面が表示されます。"

正しく画面が遷移するかを確認します。

4 - 2. 案件登録



4-2. 案件登録



4-2. 案件登録

実現したい動き

案件登録	
営業担当者	営業 太郎
顧客名	<input type="text"/>
日付	2021年9月24日
案件名	<input type="text"/>
取引先担当者	<input type="text"/>
見込金額	<input type="text"/>
確度	<input type="list"/>
ステータス	<input type="list"/>
所感	<input type="text"/>

営業担当者の欄にログインユーザ名を自動で表示させる

「顧客検索」ボタンを配置し、これを押すと「顧客検索」画面が開くようにする

日付欄はカレンダーコントロールで入力できるようにする

確度とステータスはリストボックスから選択入力できるようにする

ユーザーが入力できるセルは顧客名、案件名、見込金額、所感のみに限定する

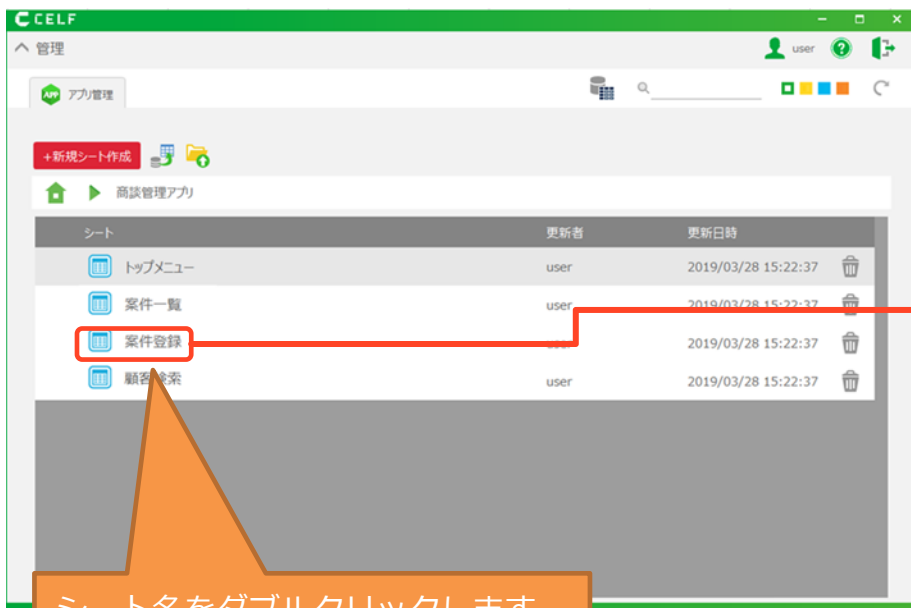
「登録」ボタンを配置し、これを押すと入力チェックをした上でテーブルに登録する

登録

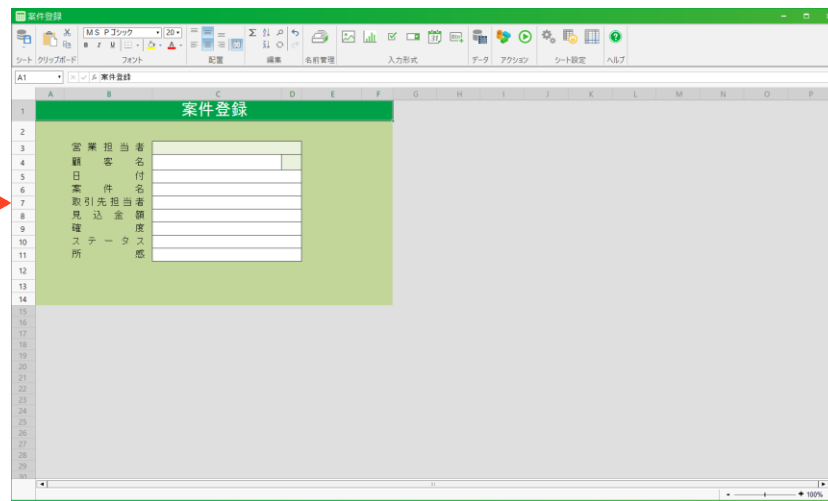


4 - 2. 案件登録シートの編集

①案件登録シートを表示します。



シート名をダブルクリックします。





4 - 2. 案件登録 シートの編集

- ② 営業担当者の欄にログインユーザを表示できる「=USER.NAME()」を入力します。
USER.NAME関数はCELF独自の関数になります。



案件登録

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	案件登録										
2											
3		営業担当者	=USER.NAME()								
4		顧客名									
5		日付									
6		案件名									
7		取引先担当者									
8		見込金額									
9		確度									
10		ステータス									
11		所感									
12											
13											
14											
15											
16											
17											

営業担当者の欄に、ログインユーザー名が表示されます。



4 - 2. 案件登録 シートの編集

- ③日付項目にリボンメニューの「入力形式」からカレンダーを設定します。
コントロールはCELF独自の関数を利用してセルに直接配置することもできます。



案件登録

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	案件登録										
2											
3		営業担当者	営業太郎								
4		顧客名									
5		日付	2021年9月24日								
6		案件名									
7		取引先担当者									
8		見込金額									
9		確認度									
10		ステータス									
11		所感									
12											
13											
14											
15											
16											
17											

C5セルの日付項目に、
カレンダーが設定されます。



4 - 2. 案件登録シートの編集

- ④ 確度、ステータス項目にリボンメニューの「入力形式」からリストを設定します。
LIST関数の項目を確度、ステータスに合わせて修正します。



案件登録

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	
1	案件登録										
2											
3	営業担当者		営業 太郎								
4	顧客名										
5	日付		2021年9月24日								
6	案件名										
7	取引先担当者										
8	見込金額										
9	確度		=LIST(1, "", "A", "B", "C", "D")								
10	ステータス										
11	所感										
12											
13											
14											
15											
16											

初期の数式 =LIST(1, "アイテム1", "アイテム2", "アイテム3")

↓

確度の数式 =LIST(1, "", "A", "B", "C", "D")

ステータスの数式 =LIST(1, "", "育成中", "商談中", "受注", "保留", "失注")

～LIST関数について～

セルにリストボックスを配置できるCELLF独自の関数です。

書き方	例
<code>=LIST (選択番号,項目1,項目2,...)</code> ※選択番号が1の場合、項目1が選択状態	<code>=LIST(1, "", "未着手","対応中","完了")</code> 

選択される項目をセルのアドレスや範囲で指定することもできます。

C4	A	B	C
4			
5	未着手		
6	対応中		
7	完了		
8			
9			

C4	A	B	C
4			
5	未着手		
6	対応中		
7	完了		
8			
9			

`=LIST(1, A4, A5, A6, A7)`

`=LIST(1, "", A5:A7)`

未選択状態の "" もリストで選択させたい場合、セルの範囲指定とは別に "" を項目に指定して下さい。セル範囲に空のセルを含めてもリストからは取り除かれます。



4 - 2. 案件登録 シートの編集

⑤ アプリ利用者が入力するセルに対し、入力許可の設定をします。



入力制限

入力制限

公開後はシートを入力禁止にする ?

入力許可するセル C4,C6,C8,C11

書式設定を許可するセル

OK キャンセル

アプリとして動作した際、顧客名・案件名・見込金額・所感の入力を可能とするために入力許可セルを設定します。



4 - 2. 案件登録 シートの編集

⑥顧客検索シートを開くためのボタンを配置します。



The screenshot shows an Excel spreadsheet titled '案件登録' (Case Registration). The ribbon includes a 'Btn+' button, which is highlighted with a red box. A red arrow points from this button to cell D4 in the spreadsheet. Cell D4 is also highlighted with a red box. An orange callout box contains the following text:

D4セルに「顧客検索」画面に遷移するボタンを配置します。ボタン名は「▶」など任意の文字を設定してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	案件登録													
2														
3	営業担当者		営業 太郎											
4	顧客名													
5	日付		2021年9月24日											
6	案件名													
7	取引先担当者													
8	見込金額													
9	確度													
10	ステータス													
11	所感													
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														

4 - 2. 案件登録 シートの編集

⑦ 「登録」 ボタンを配置します。

The screenshot shows the Excel interface for editing a 'Case Registration' sheet. The ribbon includes '名前管理' (Name Manager), '入力形式' (Number Format), 'データ' (Data), and 'アクション' (Actions). The 'Btn+' icon in the 'アクション' group is highlighted with a red box. A red arrow points from this icon to a red-bordered empty cell in row 13, column E. An orange callout box below the cell contains the text: E13セルに「登録」ボタンを配置します。

案件登録	
営業担当者	営業 太郎
顧客名	
日付	2021年9月24日
案件名	
取引先担当者	
見込金額	
確度	
ステータス	
所感	



4 - 2. 案件登録 シートの編集

⑧セルの背景色や罫線などのレイアウトを調整します。



	A	B	C	D	E	F
1	案件登録					
2						
3	営業担当者	営業 太郎				
4	顧客名					
5	日付	2021年9月24日				
6	案件名					
7	取引先担当者					
8	見込金額					
9	確度	▼				
10	ステータス	▼				
11	所感					
12						
13	画面レイアウトの完成イメージ					登録
14						



4 - 2. 案件登録 アクションセット作成（案件登録）

- ⑨案件テーブルにデータを登録するアクションを設定します。
データをテーブルに登録したいときはデータ操作アクションを利用します。



- アクションセット名：案件登録
 動作詳細：画面上の情報を案件テーブルに登録する
 登録ボタン押下時に動作する
 利用アクション：データ操作タブ 上から4番目



アクションセット 案件登録 が実行されたら ?

1 ① テーブル **案件テーブル** にデータを登録する ?

案件テーブル.営業担当者	に	=C3			を登録	
案件テーブル.顧客名	に	=C4			を登録	
案件テーブル.日付	に	=C5			を登録	
案件テーブル.案件名	に	=C6			を登録	
案件テーブル.取引先担当者	に	=C7			を登録	
案件テーブル.見込金額	に	=C8			を登録	
案件テーブル.確度	に	=C9			を登録	
案件テーブル.ステータス	に	=C10			を登録	
案件テーブル.所感	に	=C11			を登録	
(列を選択)	に				を登録	
<input type="checkbox"/> 登録された ID を次のセルにセットする ?						

登録対象のテーブルを選択します。

テーブルの列と、画面のセル番地を設定します。



4 - 2. 案件登録 アクションセット作成（案件登録）

- ⑩データを登録する前に、入力チェックを行います。
 ここでは顧客名が入力されているかどうかのチェックを行います。
 チェックの結果によって処理を変えたい場合は「分岐」の制御アクションを利用します。



利用アクション : 制御タブ 上から1番目



C4セル（顧客名）の値が空かどうかを判定します。
 「<>」は、左辺と右辺の値が一致しないかどうかを確かめるものです。

C4セル：顧客名が空でない
 (=C4<>""がtrue)
 ⇒データを登録する

C4セル：顧客名が空
 (=C4<>""がfalse)
 ⇒データを登録しない





4 - 2. 案件登録 アクションセット作成（案件登録）

⑪入力チェックの結果に応じて、メッセージを表示します。

利用アクション : 制御タブ 上から8番目

C4セル：案件名が空でない
 (=C4<>' 'がtrue)
 ⇒データを登録した後、完了メッセージを表示します。

C4セル：案件名が空
 (=C4<>' 'がfalse)
 ⇒登録できないことをメッセージで表示します。

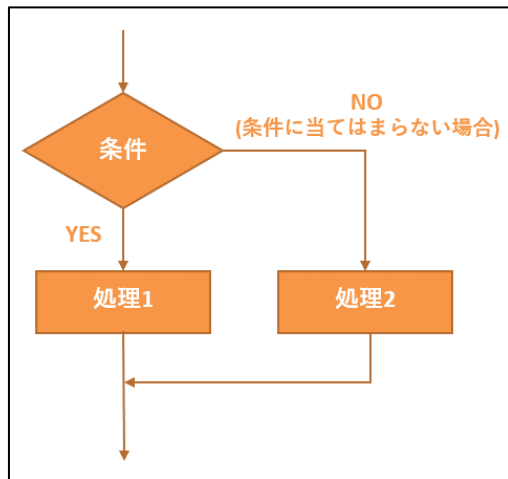


～制御について～

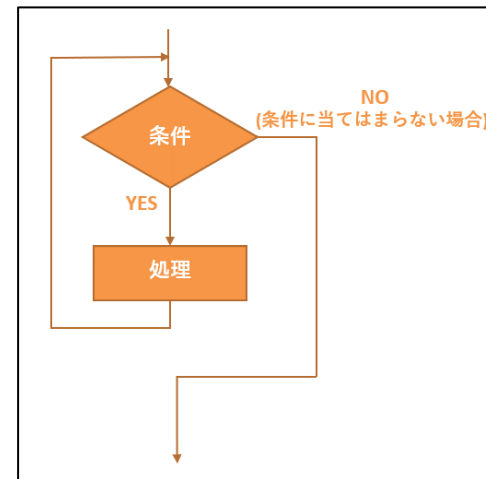
アクションセットはアクションを上から順番に実行します。
この構造を「順次」といい、「順次」の流れを変えたい時には「分岐」や「反復」という制御を利用します。一般的にプログラムは「順次」「分岐」「反復」を組み合わせて作られており、この制御のことを「制御構文」といいます。
CELFではこのような制御を制御アクションを利用して実現できます。

制御構文の流れ

分岐
(条件に応じて次の処理を決める)



反復
(条件が満たされるまで処理を繰り返す)



「制御構文」について「プログラミングが学べるIT講座」でより詳しく解説しています。

～入力チェックについて～

入力チェックとは、利用者が入力した値が適切かどうかを判定する処理です。

「空白が許されない項目に空白が入っている」「日付の項目なのに文字列が入っている」などの不正な入力を許した結果、アプリが動かなくなる、または意図しないデータができてしまうことを防止することが目的です。

入力チェックの例

- ・ 必須チェック
項目に値が入力されているかを判定します。
例) 名前が必ず入力されていること
- ・ 文字数チェック
入力された文字数が期待通りの文字数か判定します。
例) 備考欄は30文字以内であること
- ・ 型チェック
入力された値が文字/数字/日付など期待する型と一致しているか判定します。
例) 数字項目に文字など数字以外の値が入力されていないこと

入力チェックの参考例や利用できる関数の一覧は、ヘルプページから確認できます。

[小技/逆引き - 入力した文字のチェックをする](#)

[各種資料 - 入力チェック一覧](#)



4 - 2. 案件登録 アクションセット作成（顧客検索遷移）

⑫顧客名の横にあるボタンを押したときに、顧客検索シートへ遷移するアクションセットを作成します。



アクションセット名：顧客検索遷移
 動作詳細：案件登録画面から顧客検索画面に遷移する
 顧客名入力部の横にあるボタン押下時に実行される

利用アクション：シート操作タブ 上から2番目



アクションセット **顧客検索遷移** が実行されたら ?

- 1 ㊄ アプリ **(現在のアプリ)** のシート **顧客検索** を新規ウィンドウで表示する ?
 - アクティブウィンドウ以外には操作させない ?
 - ウィンドウサイズの変更を許可する

パラメータ + ?

案件登録 アクションセット実行タイミング設定（ボタンを押した時）

⑬ 2つのボタンに対応するアクションセットを紐づけます。

	A	B	C	D	E	F
1	案件登録					
2	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>営業担当者</p> <p>顧客名</p> <p>日付</p> <p>案件名</p> <p>取引先担当者</p> <p>見込金額</p> <p>確度</p> <p>ステータス</p> <p>所感</p> </div> <div style="width: 40%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">営業 太郎</p> <hr/> <p style="text-align: center;">2021年 9月 24日</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> </div> <div style="width: 20%; text-align: right;"> <p>登録</p> </div> </div>					
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						

アクションセット名：案件登録
動作詳細：案件テーブルにデータを登録する

アクションセット「案件登録」が実行されたら ?

- もし「=C4<>'''」なら ?
 - テーブル「案件テーブル」にデータを登録する ?
 - 案件テーブル.営業担当者 ▼ に「=C3」を登録
 - 案件テーブル.顧客名 ▼ に「=C4」を登録
 - 案件テーブル.日付 ▼ に「=C5」を登録
 - 案件テーブル.案件名 ▼ に「=C6」を登録
 - 案件テーブル.取引先担当者 ▼ に「=C7」を登録
 - 案件テーブル.見込金額 ▼ に「=C8」を登録
 - 案件テーブル.確度 ▼ に「=C9」を登録
 - 案件テーブル.ステータス ▼ に「=C10」を登録
 - 案件テーブル.所感 ▼ に「=C11」を登録
 - (列を選択) ▼ に [] を登録
 - 登録された ID を次のセルにセットする
- 以下のメッセージをポップアップで表示する ?
 - データを登録しました。
- そうであれば
 - 以下のメッセージをポップアップで表示する ?
 - データが入力されていません。

アクションセット名：顧客検索遷移
動作詳細：顧客検索画面に遷移する

アクションセット「顧客検索遷移」が実行されたら ?

- アプリ（現在のアプリ）のシート「顧客検索」を新規ウィンドウで表示する
 - アクティブウィンドウ以外は操作させない
 - ウィンドウサイズの変更を許可する
 パラメータ +

案件登録 動作確認（リストボックス設定）

⑭テスト実行し、期待通りの動きをするか確認します。

MS PJシック 20

シート クリップボード フォント 配置 編集 名前管理 入力形式 データ アクション シート設定 ヘルプ

案件登録

営業担当者	営業 太郎
顧客名	▶
日付	2021年9月24日
案件名	
取引先担当者	
見込金額	
確認度	▼
ステータス	▼
所感	

登録

テスト実行すると動作確認用の画面が表示されます。



案件登録 動作確認（顧客検索遷移）

⑮顧客検索画面への画面遷移部分も動作確認をします。



案件登録

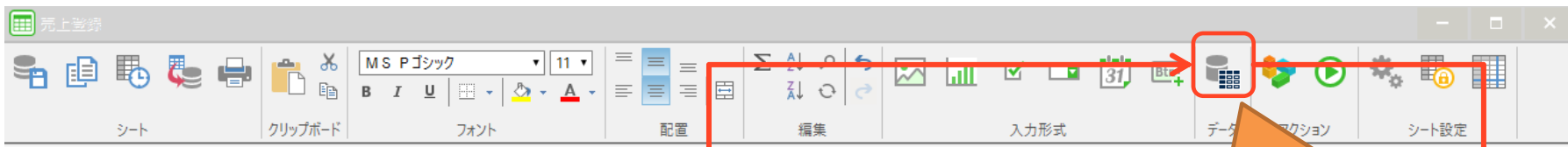
営業担当者	営業 太郎
顧客名	<input type="text"/>
日付	2021年9月24日
案件名	<input type="text"/>
取引先担当者	<input type="text"/>
見込金額	<input type="text"/>
確度	▼
ステータス	▼
所感	<input type="text"/>

画面遷移の確認をします。

登録

案件登録 動作確認（案件登録）

⑩続けて、案件情報の登録動作を確認します



登録されているかどうかは、
テーブル管理画面を開いて確認します。

案件登録

営業担当者	営業 太郎
顧客名	
日付	2021年9月24日
案件名	
取引先担当者	
見込金額	
確度	
ステータス	
所感	

登録

案件情報を入力します。

登録ボタンを押下します。

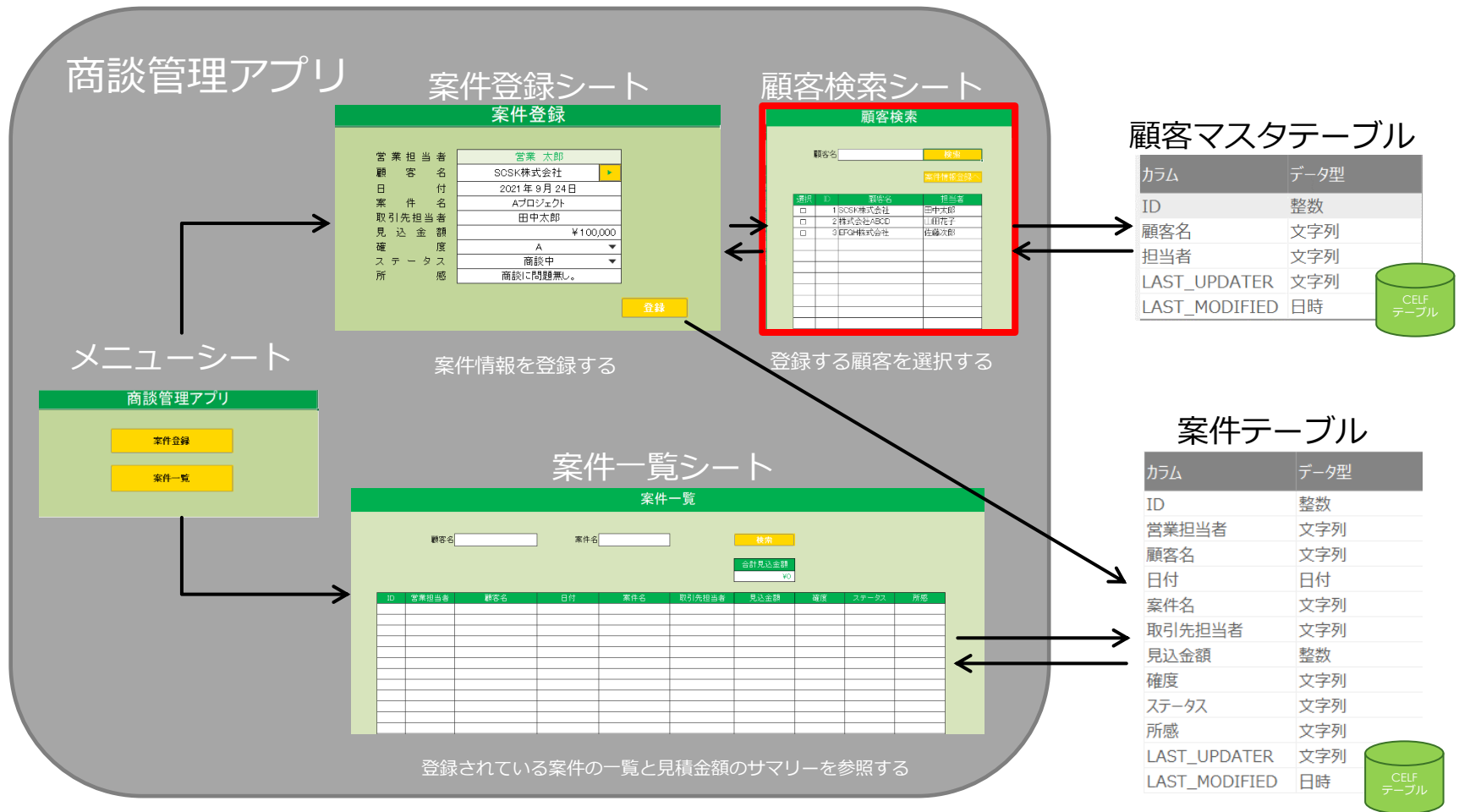


案件テーブルをダブルクリックすると、
右側に登録された案件情報が表示されます。

4 - 3 . 顧客検索



4-3. 顧客検索



4 - 3. 顧客検索

実現したい動き

顧客検索

顧客名

選択	ID	顧客名	担当者
<input type="checkbox"/>	1	SCSK株式会社	田中太郎
<input type="checkbox"/>	2	株式会社ABCD	山田花子
<input type="checkbox"/>	3	EFGH株式会社	佐藤次郎

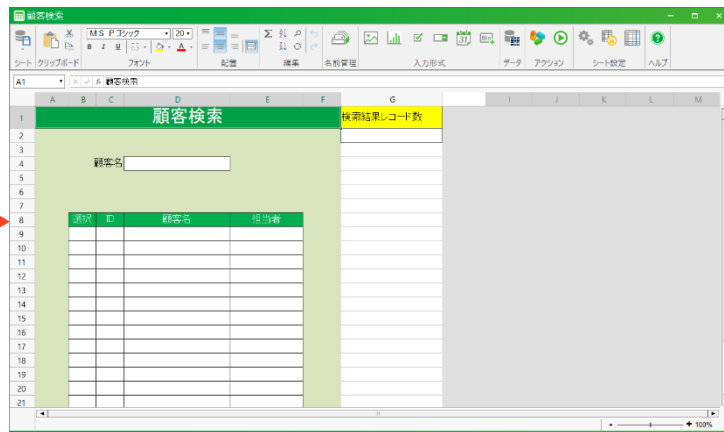
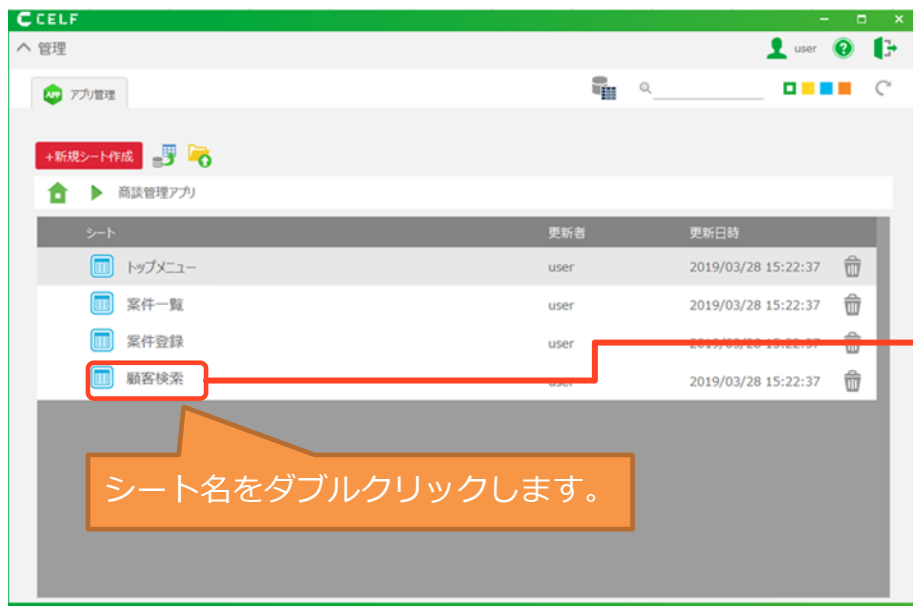
顧客名に任意の顧客名を入れて「検索」ボタンを押すと、検索結果に該当する顧客が表示される

「案件情報登録へ」ボタンを押すと「案件登録」画面が開き、チェックが入った顧客情報を渡す



4 - 3. 顧客検索 シートの編集

①顧客検索シートを表示します。





4 - 3. 顧客検索 シートの編集

- ② 検索の結果、抽出された顧客の件数を求める数式を検索結果レコード数に入力します。
検索結果レコード数は、選択欄にチェックボックスをセットするときを使用します。



顧客検索

検索結果レコード数

=COUNTA(C9:C25)

顧客名

選択	ID	顧客名	担当者

「=COUNTA(C9:C25)」を入力します。
本シートC列の件数（顧客件数）をカウントする関数です。
COUNTA関数もCELLFで利用できる関数です。

4 - 3. 顧客検索 シートの編集

③ 「検索」 ボタンを配置します。

The screenshot shows a spreadsheet application window titled '顧客検索'. The ribbon contains various tabs: シート, クリップボード, フォント, 配置, 編集, 名前管理, 入力形式, データ, アクション, シート設定, ヘルプ. The 'Btn+' icon in the 'データ' tab is highlighted with a red box. A red arrow points from this icon to cell E4. An orange callout box points to E4 with the text 'E4セルに「検索」ボタンを設置します。'

	A	B	C	D	E	F	G	I	J	K	L	M
1	顧客検索						検索結果レコード数					
2							0					
3												
4	顧客名	<input type="text"/>										
5												
6												
7												
8	選択	ID	顧客名	担当者								
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												

4 - 3. 顧客検索 シートの編集

④ 「案件登録へ」 ボタンを配置します。

The screenshot shows a spreadsheet application window titled '顧客検索'. The ribbon at the top contains various icons for editing and formatting. A red box highlights the 'Btn+' icon in the 'アクション' (Action) tab. An arrow points from this icon to cell E6, which is highlighted with a red border. An orange callout box points to E6 with the text 'E6セルに「案件登録へ」ボタンを配置します。' (Place the 'Register Case' button in cell E6). The spreadsheet content includes a title '顧客検索' in cell D1, a search input field in D4, and a table with columns '選択', 'ID', '顧客名', and '担当者' starting from row 8.

選択	ID	顧客名	担当者

4 - 3. 顧客検索 シートの編集

⑤ アプリ利用者が入力するセルに対し、入力許可の設定をします。

The screenshot shows a spreadsheet application window titled '顧客検索'. The ribbon includes 'シート', 'クリップボード', 'フォント', '配置', '編集', '名前管理', '入力形式', 'データ', 'アクション', 'シート設定', and 'ヘルプ'. The 'シート設定' tab is active, and the '入力制限' (Input Restrictions) dialog box is open. The dialog box has the following content:

- 入力制限
- 公開後はシートを入力禁止にする
- 入力を許可するセル: D4
- 書式設定を許可するセル: (empty)
- Buttons: OK, キャンセル

An orange callout box points to the 'D4' cell in the spreadsheet, containing the text: **D4セル（顧客名）のみ、入力を許可します。**



4 - 3. 顧客検索 シートの編集

⑥セルの背景色や罫線などのレイアウトを調整します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	顧客検索						検索結果レコード数
2							0
3							
4		顧客名	<input type="text"/>		検索		
5							
6							
7							
8		選択	ID	顧客名	担当者		
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							

画面レイアウトの完成イメージ





4 - 3. 顧客検索 アクションセット作成（検索）

⑦検索のアクションセットを作成します。

アクションセット名：検索
 動作詳細：顧客データを画面に表示する。
 検索ボタン押下時に実行される。

利用アクション①：セル操作タブ 上から2番目
 利用アクション②：データ操作タブ 上から1番目

顧客データの表示領域をあらかじめクリアします。
 こうすることで検索ボタンを押す度にクリアされ、
 常に新しいデータだけを表示できます。

アクションセット [検索] を実行されたら ?

- 1 セル B9:E25 の値をクリアする [?] **テーブルを選択します。**
- 2 テーブル 顧客マスターテーブル [?] から複数件取得する ?

表示する列と表示先の設定 [?] **このアイコンをクリックして、表示領域の起点となるセルと表示させるテーブルの項目を設定します。**

顧客マスターテーブル.ID、顧客マスターテーブル.顧客名、顧客マスターテーブル.担当者をセル C9 を起点に表示する

検索条件 [?] **検索条件を設定します。検索条件で入力された顧客名が含まれることを条件に設定します。**

顧客マスターテーブル.顧客名 が次を含む: =D4

ソート条件 [?]

(設定)

取得

取得

表示する列と表示先の設定編集

指定したセルを起点に表示する
 起点セル C9

列毎に表示先を指定する
 表示開始行

表示する列を選択してください

顧客マスターテーブル.ID	[trash]
顧客マスターテーブル.顧客名	[trash]
顧客マスターテーブル.担当者	[trash]
(列を選択)	[trash]

表示先のセルの書式を設定する
 プレビュー 書式

OK キャンセル

条件編集

顧客マスターテーブル.顧客名 が次を含む =D4

条件を追加

OK キャンセル



4 - 3. 顧客検索 アクションセット作成（検索）

⑧ 選択欄のチェックボックスを表示するアクションセットを作成します。

利用アクション① : 制御タブ 上から1番目

利用アクション② : セル操作タブ 上から1番目



アクションセット 検索 が実行されたら

- セル B9:E25 の値をクリアする
- テーブル 顧客マスターテーブル から複数件取得する
表示する列と表示先の設定
- もし $=G2 > 0$ ならば
 - 取得開始行を指定する 行目から取得
 - 取得最大件数を指定する 最大で 件取得
- セル $=B9:B & (G2 + 8)$ に $=check(false, "")$ をセットする
そうであれば

G2セル（検索結果レコード数）は、顧客件数をカウントするセルです。

G2が0より大きい、つまり1件でも顧客データが取得できていれば、中のアクションが実行されます。

顧客データが表示された行に、チェックボックスをセットします。

1つ目の入力箇所：「 $=B9:B & (G2 + 8)$ 」

B9セルからB〇〇セルまでの範囲を指定しています。
〇〇の部分は顧客件数によって変わるため、数式を使って行番号を計算しています。



4 - 3. 顧客検索 アクションセット作成（検索）

⑨チェックボックスを設定する数式を入力します。



アクションセット「検索」が実行されたら

- セル B9:E25 の値をクリアする
- テーブル「顧客マスターテーブル」から複数件取得する
 - 表示する列と表示先の設定
 - 顧客マスターテーブル.ID、顧客マスターテーブル.顧客名、顧客マスターテーブル.担当者 をセル C9 を起点に表示する
 - 検索条件
 - (設定されていません)
 - ソート条件
 - (設定されていません)
 - 取得開始行を指定する 行目から取得
 - 取得最大件数を指定する 最大で 件取得
- もし $=G2 > 0$ ならば
- セル $=B9:B & (G2 + 8)$ に $=check(false, """"")$ をセットする
 そうでなければ

2つ目の入力箇所：「 $=check(false, """"")$ 」

※falseの後の「"」は4つ

セルにチェックボックスをセットする数式を指定しています。

CELIFでは「 $=check(false, """)$ 」をセルに入力すると

チェックボックスが配置されます。

セルに数式をセットするには、数式をダブルクォーテーションで囲う必要があります。

セットしたい数式や関数に文字列が含まれる場合、文字列を囲むダブルクォーテーションに、もう1つダブルクォーテーションを追加します。

- 文字列の場合、2つのダブルクォーテーションで囲みます。
 $=""""エリアCD"" & C4$

- 空文字の場合、ダブルクォーテーションが4つになります。
 $=CHECK(false, """"")$

～繰り返しを利用したチェックボックスのセットについて～

前頁のようにチェックボックスを一括でセットする以外に、1行ずつの繰り返し処理でセットすることもできます。

繰り返し処理で実現するためには、開始行から下方向に1行ずつ移動し、顧客データがあればチェックボックスをセットし、なければ繰り返し処理を終了するようにします。

	A	B	C	D	E	F	G
1	顧客検索						検索結果レコード数
2							3
3							
4		顧客名	<input type="text"/>		検索		
5							
6					案件登録へ		
7							
8		選択	ID	顧客名	担当者		
9			1	SCSK株式会社	田中太郎		
10			2	株式会社ABCD	山田花子		
11			3	EFGH株式会社	佐藤次郎		
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							

この例であれば、

9行目から処理開始

↓
9行目はC列に顧客データがあるので、
B列にチェックボックスをセット

↓
10行目はC列に顧客データがあるので、
B列にチェックボックスをセット

↓
11行目はC列に顧客データがあるので、
B列にチェックボックスをセット

↓
12行目はC列に顧客データがないので、
繰り返し処理を終了

このように、下方向に1行ずつ移動するためにはカウンタを使用します。
カウンタとは、回数を数えるための仕組みです。

～繰り返しを利用したチェックボックスのセットについて～

CELLFでは、数を数えるためのカウンタを、セルを用いて実現します。
今回の例では、G3セルをカウンタとして、開始行である9行目から1行ずつ移動していきます。繰り返しの制御は「条件を満たす間は繰り返す」アクションを使います。

	A	B	C	D	E	F	G
1	顧客検索						検索結果レコード数
2							3
3							
4		顧客名	<input type="text"/>			検索	
5							
6						案件登録へ	
7							
8		選択	ID	顧客名		担当者	
9			1	SOSK株式会社		田中太郎	
10			2	株式会社ABCD		山田花子	
11			3	EFGH株式会社		佐藤次郎	
12							
13							
14							
15							

最初はG3セルに
開始行の9をセットします。

顧客データが存在している間は繰り返し行うよう、
以下の条件を入力します。

=UTIL.CELLV(G3,"C")<>""

※G3セルが示す行のC列の値が空文字以外か
チェックしています。

アクションセットは以下ようになります。

セル G3 に 9 をセットする

もし =UTIL.CELLV(G3, "C")<>" " を満たす間は繰り返す

セル ="B"&G3 に ="=check(false, """") をセットする

セル G3 に =G3+1 をセットする

繰り返し処理の最後で、行を示すG3セルの値を+1
します。

これにより、最初はC9、次にC10、その次にC11と
1行ずつC列の値に空文字が見つかるまで繰り返さ
れます。

～UTIL.CELLV関数について～

UTIL.CELLV関数は、行番号と列番号（または列名）によって指定されるセルの値を返すCELLF独自の関数です。主にカウンタを用いた繰り返しの処理の中で、セルの値を行の上から順に、または列の左から順に取得したい場合に使用します。

使用方法について

=UTIL.CELLV(行番号, 列番号または列名)

使用例

例1) C9セルの値を取得したい

⇒ UTIL.CELLV(9, "C") または UTIL.CELLV(9, 3)

例2) 繰り返し処理の中でC列の値を上から順に取得したい

⇒ UTIL.CELLV(G3, "C") または UTIL.CELLV(G3, 3) ← G3セルの値をカウントアップさせることで、C列の値を上から順に取得します

例3) 繰り返し処理の中で9行目の値を左から順に取得したい

⇒ UTIL.CELLV(9, G3) ← G3セルの値をカウントアップさせることで、9行目の値を左から順に取得します



4 - 3. 顧客検索 アクションセット作成（案件登録へ）

- ⑩顧客検索シートを閉じ、案件登録シートへ顧客データを渡すアクションセットを作成します。

アクションセット名：案件登録へ

動作詳細：顧客検索画面を閉じ、選択された顧客名、担当者を案件登録画面に反映する。
案件登録へボタンを押下することで実行される。

利用アクション：シート操作タブ 上から3番目



アクションセット **案件登録へ** が実行されたら ?

1 シートを閉じる ?

パラメータ + ?

セル C4 に =VLOOKUP(true,B9:E25,3,false) をセットする

セル C7 に =VLOOKUP(true,B9:E25,4,false) をセットする

本シートを閉じる時、
パラメータを設定すると呼び出し元シートに値を渡せます。
「+」をクリックしてパラメータを設定します。

C4セル、C7セルは呼び出し元シート上のセルです。
顧客登録シートのC4セル：顧客名
顧客登録シートのC7セル：担当者

～VLOOKUP関数について～

VLOOKUP関数は、指定された範囲の1列目で値を検索し、同じ行の指定した列の値を返します。

使用方法について

=VLOOKUP(**検索値**, **範囲**, **列番号**, [検索方法])

「案件登録へ」アクションセットでは、以下の結果となります。

アクションセット「案件登録へ」が実行されたら ?

- 1 シートを閉じる ?
パラメータ + ?
セル C4 に =VLOOKUP(true,B9:E25,3,false) をセットする
セル C7 に =VLOOKUP(true,B9:E25,4,false) をセットする

- 範囲の1列目から検索値 (TRUE=チェックボックスON) を探す。⇒1行目がチェックボックスON
- 見つかった行の列番号 (3列目と4列目) の値を取得する。⇒SCSK株式会社と田中太郎
- C4セルにSCSK株式会社、C7セルに田中太郎がセットされる。

顧客検索

顧客名 検索

案件登録へ

選択	ID	顧客名	担当者
<input checked="" type="checkbox"/>	1	SCSK株式会社	田中太郎
<input type="checkbox"/>	2	株式会社ABCD	山田花子
<input type="checkbox"/>	3	EFGH株式会社	佐藤次郎

検索値

範囲

検索列

列番号



4 - 3. 顧客検索 アクションセット実行タイミング設定

⑪ 2つのボタンに対応するアクションを紐づけます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	顧客検索						検索結果レコード数
2							0
3							
4	顧客名			検索			
5							
6							
7							
8	選択	ID	顧客名	担当者			
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

アクションセット名 : 検索
 動作詳細 : 顧客データを画面に表示する

アクションセット 検索 が実行されたら

- セル B9:E25 の値をクリアする
- テーブル 顧客マスターテーブル から複数件取得する
 表示する列と表示先の設定
 顧客マスターテーブル.ID、顧客マスターテーブル.顧客名、顧客マスターテーブル.担当者をセル C9 を起点に表示する
 検索条件 (設定されていません)
 ソート条件 (設定されていません)
 取得開始行を指定する 行目から取得
 取得最大件数を指定する 最大で 件取得
- もし =G2 > 0 ならば
- セル ="B9:B" & (G2 + 8) に ="=check(false, """) をセットする
 そうでなければ

アクションセット名 : 案件登録へ
 動作詳細 : 顧客検索画面を閉じ
 案件登録画面に
 顧客名、担当者を反映する

アクションセット 案件登録へ が実行されたら

- シートを閉じる
 パラメータ +
 セル C4 に =VLOOKUP(true,B9:E25,3,false) をセットする
 セル C7 に =VLOOKUP(true,B9:E25,4,false) をセットする





4 - 3. 顧客検索 動作確認

⑫テスト実行し、検索動作および、画面遷移の動作を確認します。



	A	B	C	D	E	F	G
1	顧客検索						検索結果レコード数
2							0
3							
4	顧客名				検索		
5							
6						案件登録へ	
7							
8	選択	ID	顧客名	担当者			
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

検索結果が表示されることを確認します。

選択した顧客が、
案件登録画面に反映されることを確認します。
※案件登録画面からテスト実行を開始しないと
確認ができません。

4 - 4 . 案件一覽



4-4. 案件一覧

実現したい動き

案件一覧

顧客名 案件名

合計見込金額
¥0

ID	営業担当者	顧客名	日付	案件名	取引先担当者	見込金額	確認	ステータス	所感

顧客名・案件名を入れて検索ボタンを押すと、該当する案件情報を表示する

見込金額の合計を表示する



4 - 4. 案件一覧シートの編集

①案件一覧シートを表示します。



CELF 管理

アプリ管理

+新規シート作成

簡談管理アプリ

シート	更新者	更新日時
トップメニュー	user	2019/03/28 15:22:37
案件一覧	user	2019/03/28 15:22:37
案件登録	user	2019/03/28 15:22:37
顧客検索	user	2019/03/28 15:22:37

シート名をダブルクリックします。

案件一覧

顧客名 案件名

合計見込金額

ID	営業担当	顧客名	日付	案件名	取引先担当	見込金額	佣金	ステータス	所属



4-4. 案件一覧シートの編集

② 「検索」 ボタンを配置します。

The screenshot displays a spreadsheet application window titled '案件一覧'. The ribbon at the top contains various toolbars: 'シート', 'クリップボード', 'フォント', '配置', '編集', '名前管理', '入力形式', 'データ', 'アクション', 'シート設定', and 'ヘルプ'. The '配置' (Layout) tab is active, and the 'Btn+' icon is highlighted with a red box. A red arrow points from this icon to a button being placed in cell H4 of the spreadsheet. An orange callout box points to cell H4 with the text 'H4セルに「検索」ボタンを配置します。'. The spreadsheet grid shows a header row (row 9) with columns: ID, 営業担当者, 顧客名, 案件名, 発生額, 確定額, 確度, ステータス, 所感. Above the grid are input fields for '顧客名' and '案件名', and a '合計見込金額' field showing '¥0'.



4 - 4. 案件一覧 シートの編集

③見込金額の総合計を計算する数式を入力します。



案件一覧

顧客名 案件名 検索

合計見込金額
=SUM(H10:H51)

合計見込金額を計算する数式を入力します。
「=SUM(H10:H51)」
SUM関数もCELLFで利用できる関数です。

ID	営業担当者	顧客名	日付	案件名	取引先担当者	見込金額	確度	ステータス	所感



4-4. 案件一覧シートの編集

④ アプリ利用者が入力するセルに対し、入力許可の設定をします。



入力制限

公開後はシートを入力禁止にする

入力を許可するセル D4,F4

書式設定を許可するセル

検索条件の顧客名、案件名のセルを入力許可に設定します。

OK キャンセル

ID	営業担当者	顧客名	日付	案件名



4-4. 案件一覧シートの編集

⑤背景色、罫線などのレイアウトを調整します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	案件一覧											
2												
3												
4			顧客名	<input type="text"/>		案件名	<input type="text"/>		検索			
5												
6												
7												
8												
9	ID	営業担当者	顧客名	日付	案件名	取引先担当者	見込金額	確度	ステータス	所感		
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												

合計見込金額
¥0

画面レイアウトの完成イメージ





4-4. 案件一覧アクションセット作成

⑥検索のアクションセットを作成します。

アクションセット名：検索
 動作詳細：案件データを画面に表示する。
 検索ボタン押下時に実行される。

利用アクション①：セル操作タブ 上から2番目

利用アクション②：データ操作タブ 上から1番目



アクションセット「検索」が実行されたら

1 セル B10:K51 から複数件取得する

2 テーブル 案件テーブル から複数件取得する

表示する列と表示先の設定

案件テーブル.ID、
 案件テーブル.営業担当者、
 案件テーブル.顧客名、
 案件テーブル.日付、
 案件テーブル.案件名、
 案件テーブル.取引先担当者、
 案件テーブル.見込金額、
 案件テーブル.確度、
 案件テーブル.ステータス、
 案件テーブル.所感
 をセル B10 を起点に表示する

検索条件

案件テーブル.顧客名 が次を含む: =D4
 かつ 案件テーブル.案件名 が次を含む: =F4

ソート条件

(設定されていません)

取得開始行を指定する
 取得最大件数を指定する

表示領域をあらかじめクリアします。

このアイコンをクリックして、
表示領域の起点となるセルと
表示させるテーブルの項目を設定します。

検索条件を設定します。
検索条件で入力された案件名、顧客名が
含まれることを条件に設定します。

表示する列と表示先の設定編集

指定したセルを起点に表示する
 起点セル B10

列毎に表示先を指定する
 表示開始行

表示する列を選択してください

案件テーブル.ID
 案件テーブル.営業担当者
 案件テーブル.顧客名
 案件テーブル.日付
 案件テーブル.案件名
 案件テーブル.取引先担当者
 案件テーブル.見込金額
 案件テーブル.確度
 案件テーブル.ステータス
 案件テーブル.所感
 (列を選択)

表示先のセルの書式を設定する
 プレビュー 書式

OK キャンセル

条件編集

案件テーブル.顧客名 が次を含む =D4
 かつ
 案件テーブル.案件名 が次を含む =F4

条件を追加

OK キャンセル



4 - 4. 案件一覧 アクションセット実行タイミング設定

- ⑦ 「検索」 ボタンにアクションセットを紐づけます。



案件一覧									
ID	営業担当者	顧客名	日付	案件名	取引先担当者	見込金額	確度	ステータス	所感

アクションセット名：検索
 動作詳細：案件データを画面に表示する。

アクションセット **検索** が実行されたら ?

- セル B10:K51 の値をクリアする ?
- テーブル **案件テーブル** から複数件取得する ?

表示する列と表示先の設定

案件テーブル.ID、
 案件テーブル.営業担当者、
 案件テーブル.顧客名、
 案件テーブル.日付、
 案件テーブル.案件名、
 案件テーブル.取引先担当者、
 案件テーブル.見込金額、
 案件テーブル.確度、
 案件テーブル.ステータス、
 案件テーブル.所感
 をセル B10 を起点に表示する

検索条件

案件テーブル.顧客名 が次を含む: =D4
 かつ 案件テーブル.案件名 が次を含む: =F4

ソート条件

(設定されていません)

取得開始行を指定する 、 行目から取得 ?

取得最大件数を指定する 最大で 、 件取得





4 - 4. 案件一覧 アクションセット実行タイミング設定

⑧テスト実行し、検索の動作を確認します。



案件一覧

顧客名 案件名 検索

検索ボタンを押下します。

合計見込金額
¥4,050,000

ID	営業担当者	顧客名	日付	案件名	取引先担当者	見込金額	確度	ステータス	所感
2	○× △□	株式会社ABCD	2021/09/14	X案件	山田花子	¥ 50,000	A	商談中	見込み有
3	◇◎ 凸凹	SCSK株式会社	2021/09/14	XXXX案件	田中太郎	¥ 4,000,000	A	受注	問題無し

検索結果が表示されることを確認します。
※案件情報を登録していない場合、何も表示されません。

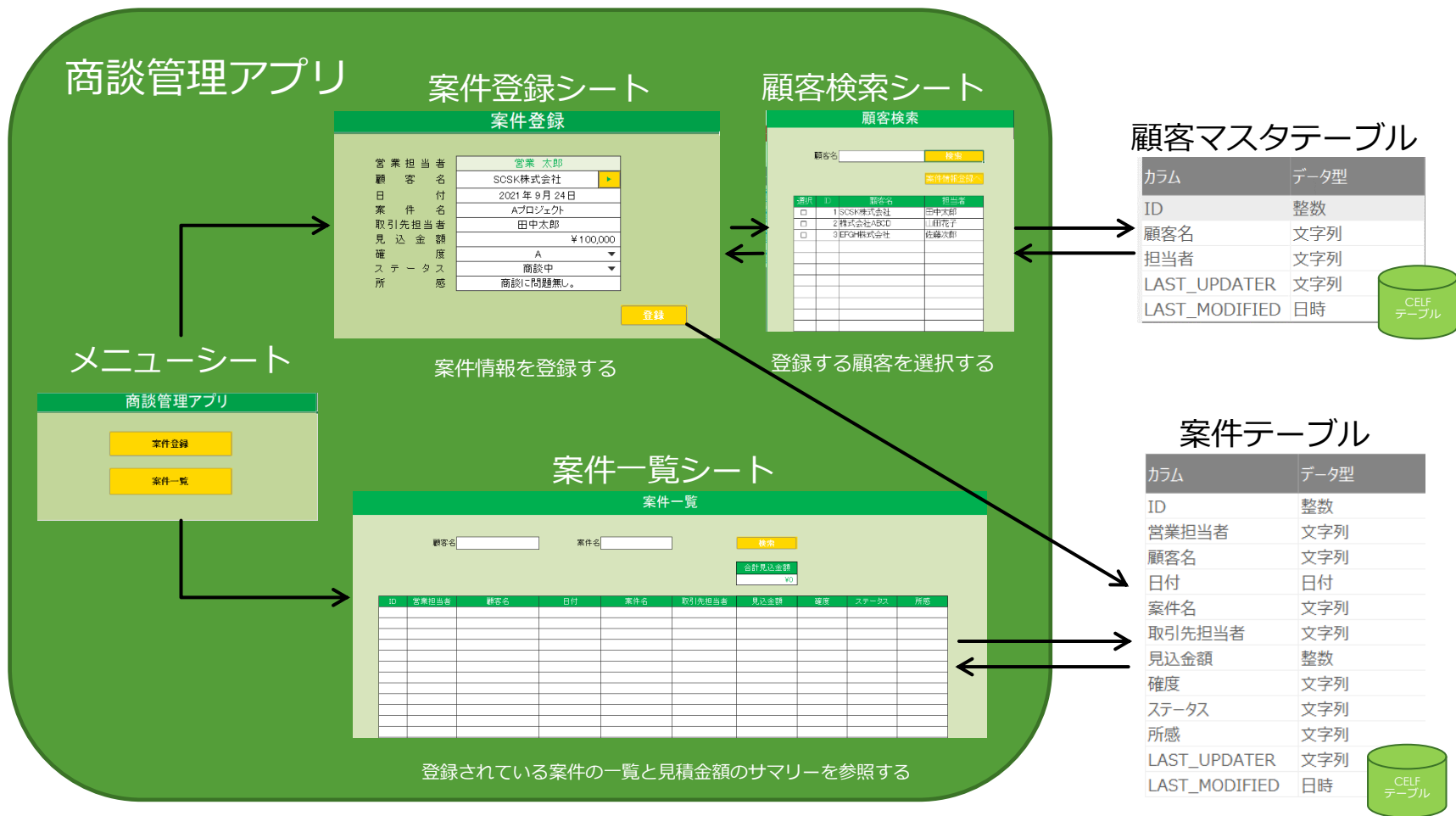
つくるを学ぶ ～まとめ～



CEL F

アプリの全体構成

これまで作ったもので、全てが作成できました。



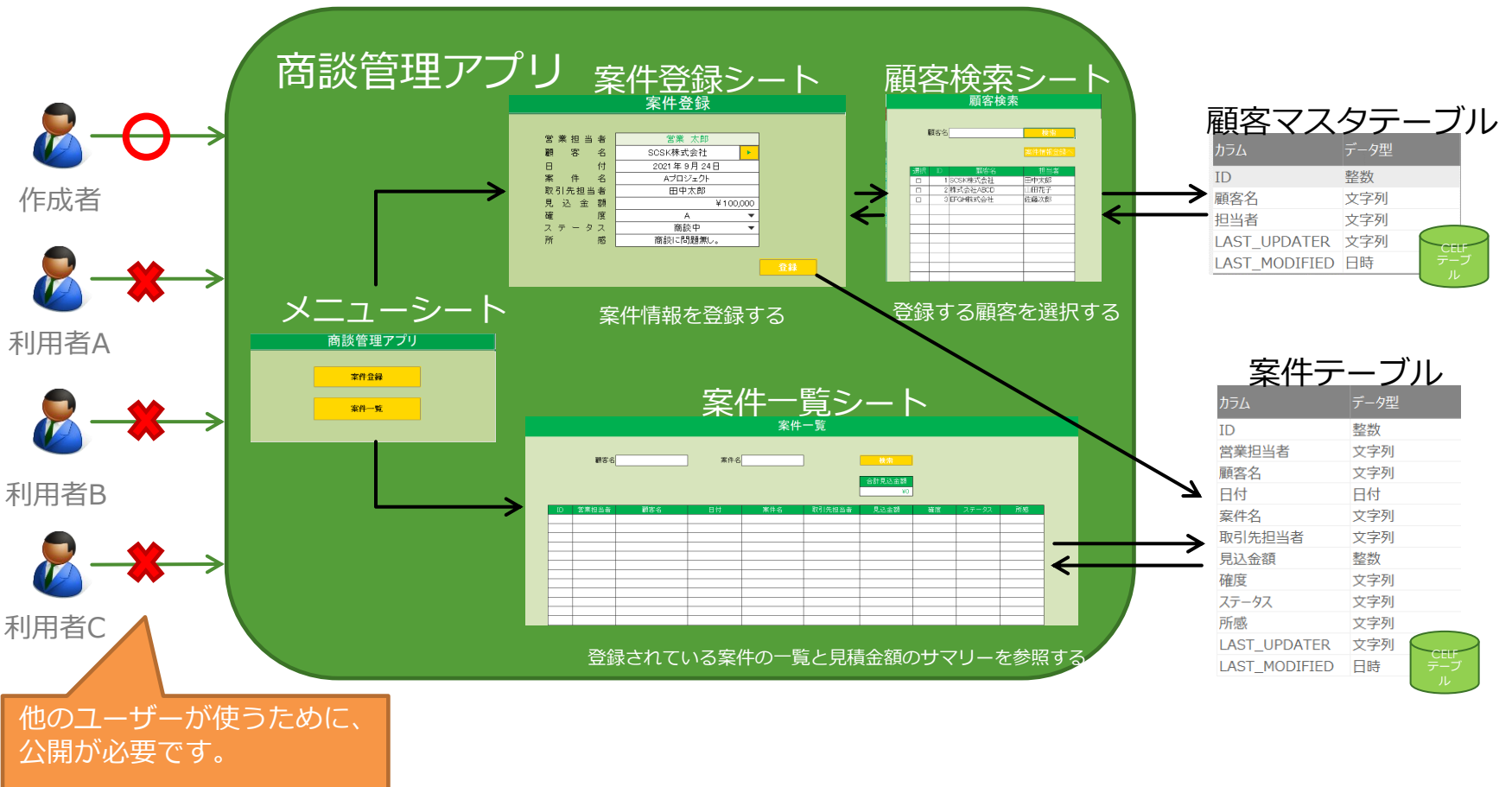
5. アプリを公開する



公開の設定

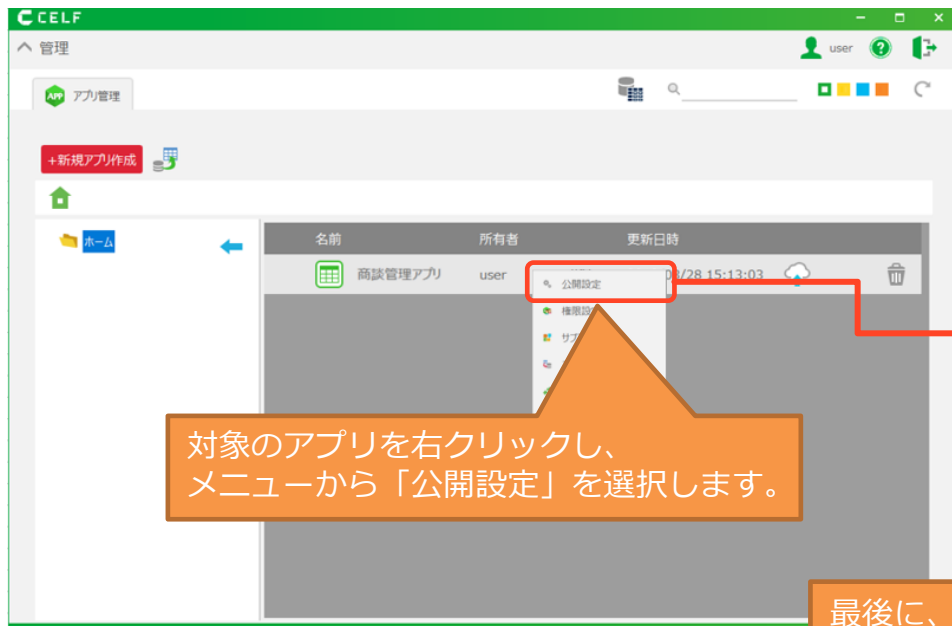
作成したアプリを公開し、複数のユーザーが使えるようにします。

公開前

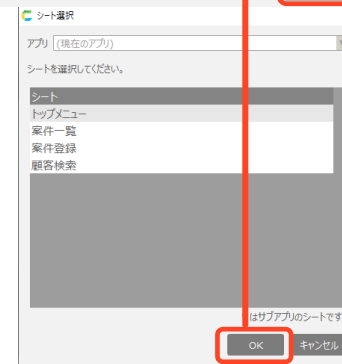
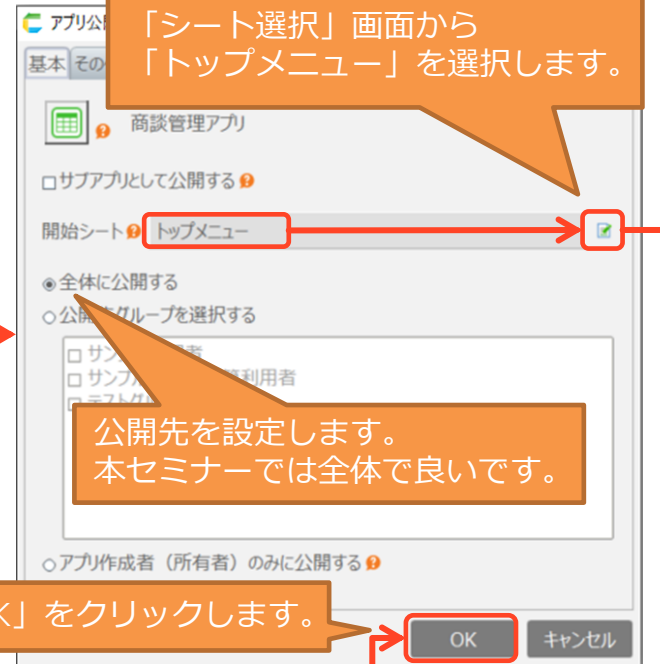


公開の設定

① 開始シートと公開先グループを指定します。



開始シートに「シート選択」画面から「トップメニュー」を選択します。





公開の設定

②公開します。



The screenshot shows the CELF application management interface. The top navigation bar includes '管理' (Management) and a user profile 'user'. Below the navigation bar, there is a '+新規アプリ作成' (Create New App) button. The main content area displays a list of applications with columns for '名前' (Name), '所有者' (Owner), and '更新日時' (Update Date). The application '商談管理アプリ' (Sales Management App) is listed with the update date '2019/03/28 15:13:03'. A red box highlights the '公開' (Publish) icon (a cloud with an upward arrow) next to the application name. An orange callout box points to this icon with the text: 'このアイコンをクリックするとアプリが公開されます。' (Clicking this icon will publish the application.)

名前	所有者	更新日時	操作
商談管理アプリ	user	2019/03/28 15:13:03	公開 (Cloud icon)



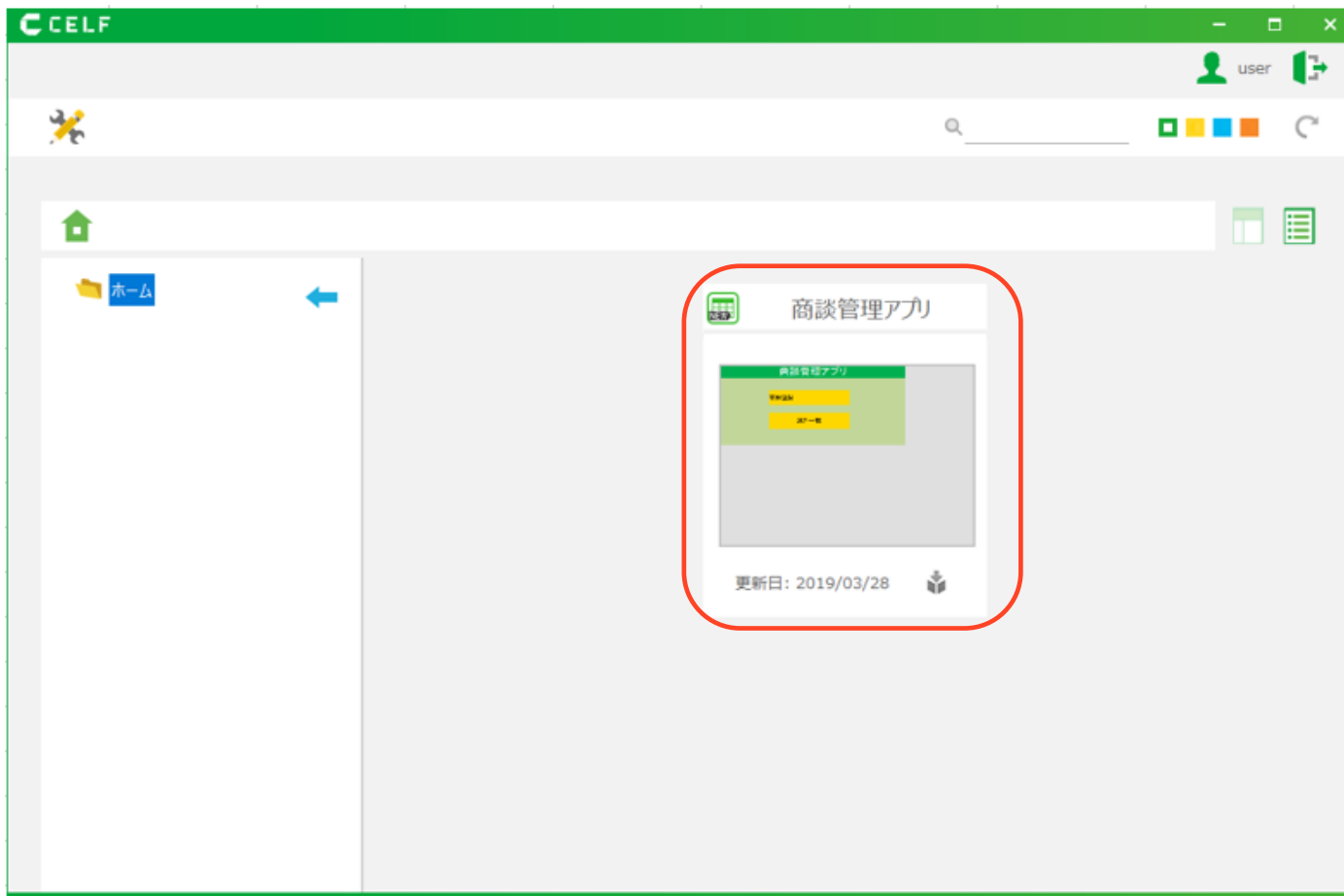
6. アプリを使う





公開アプリの実行

公開された商談管理アプリが実行できます。



その他技術情報



CELLF HELPのご案内

CELLFのヘルプをご用意しております。ご活用ください。

メニュー上部の「？」マークから
HELPにアクセスできます。

The screenshot displays the CELLF application interface. At the top, there is a navigation bar with the 'CELLF' logo and a '管理' (Management) button. Below this is a toolbar with various icons, including a question mark icon in a green circle, which is highlighted by a red box and an arrow pointing to a callout box. The callout box contains the text: 'メニュー上部の「？」マークからHELPにアクセスできます。' (You can access HELP from the '?' mark in the top menu).

The main content area shows a browser window displaying the 'CELLF ヘルプ' (CELLF Help) page. The page title is 'CELLF ヘルプ - cell help 2.3...'. The browser address bar shows 'http://cellf.scskinfo.jp/celf-help/ja/index.html'. The page content is organized into a table of contents with the following sections:

- 目次** (Table of Contents):
 - ログイン
 - スタートアップ (5分クッキング)
 - テーブル管理
 - アプリ作成
 - シート作成
 - アクション作成
 - アクションの使い方
 - テスト実行
 - 公開・非公開
 - 外部接続/基幹システム連携
 - 小技/逆引き
 - 各種登録・設定・参照
 - 問い合わせ
 - よくあるご質問
 - ロボットアクションの使い方
- クイック検索** (Quick Search): A search input field.
- CELLF ヘルプ** (CELLF Help):
 - ログイン**: ログインする, ログアウトする
 - スタートアップ (5分クッキング)**: アプリシートを作成する, テーブルと画面、アクションを作成する, アプリを利用する, サンプルアプリをインポートする, 見積・案件管理, 予算実績管理, その他便利機能
 - テーブル管理**: テーブルを作成する, 作成したテーブルの定義を後から変更する, 作成したテーブルの定義を複製する, テーブル定義をエクスポートする, テーブル定義をインポートする, テーブルデータ (CSV) をエクスポートする, テーブルデータ (CSV) をインポートする, テーブルの権限を設定する, テーブル検索を高速化する (インデックス設定), マスタ管理用シートを自動生成する
 - アプリ作成**: アプリの編集権限を設定する, アプリをカテゴリ分けして一覧表示を階層化する, アプリをエクスポートする, アプリをインポートする, アプリをバックアップ、および、復元する
 - シート作成**: 行の高さ・列の幅を変更する, 行または列の表示・非表示をする, 行または列を挿入・削除する, セルの書式を変更する, ウィンドウの枠固定をする, コントロールを配置する, シートへ画像を挿入する, シートにグラフを挿入する, 既存 Excel からレイアウトを作成する
 - アクション作成**: アクションセットを組み立てる, アクションにコメントを書く, アクションを無効化する, アクションをコピーする, シートを表示した際に動作するアクションを指定する, セルの値の更新時にアクションセットを実行する (基本編), セルの値の更新時にアクションセットを実行する (応用編), 他のアプリのシートを汎用部品とし

参考資料

テーブルから

メンテナンス画面を自動作成する。

～顧客マスターメンテナンス画面の作成・実行～



CEL F



※参考資料：テーブルからメンテナンス画面の自動作成

各テーブルのメンテナンスシートは、テーブル管理画面で自動作成できます。
サンプルアプリの「顧客マスター」のようなテーブルをメンテナンスする場合に便利です。

テーブル管理画面

メンテナンスシートが自動生成されます。

テーブル管理画面

テーブル管理

新規テーブル作成

テーブル一覧

- テーブル定義の編集
- テーブル定義の複製
- テーブル定義のエクスポート
- テーブルデータのエクスポート
- テーブルデータのインポート
- 権限設定
- テーブルを削除
- テーブルからシート作成**

データ 定義 インデックス

案件テーブル

顧客マスターテーブル

商談管理アプリ

A1

一時変数数列

テーブル名 **顧客マスターテーブル** 取得

データ件数 3行 更新

新規行追加 行 追加

ID	顧客名	担当者	LAST_UPDATER	LAST_MODIFIED
1	SCSK株式会社	田中太郎	scsk	2021/11/11 18:51:42
2	株式会社ABCD	山田花子	scsk	2021/11/11 18:51:42
3	EFGH株式会社	佐藤次郎	scsk	2021/11/11 18:51:42

100%



Do it By Your **CEL**F!



SCSK

夢ある未来を、共に創る。



<http://www.celf.jp>

「Excel」は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、本資料に記載されている製品名、会社名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。